

2004 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
プログラム
(要項 3)



期日 2005年(平成17年)3月11日～13日

場所 栃木県今市市・日光市・塩谷郡藤原町

主催 日本学生オリエンテーリング連盟
主管 2004年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

後援 栃木県・栃木県教育委員会・栃木県観光協会
今市市・今市市教育委員会・今市市観光協会
日光市・日光市教育委員会・日光市観光協会
藤原町

協賛 栃木県オリエンテーリング協会

株式会社 日本旅行
大塚製薬株式会社



日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸



今年度は秋から台風、地震、津波と大きな災害が相次ぎました。一方、スポーツ界では、アテネ五輪でのメダルラッシュやイチロー選手の大リーグ記録など、日本人選手の活躍が明るい話題を提供してくれました。オリエンテーリングもこれらに続きたいところですが、日本の現状にはなかなか厳しいものがあります。しかし、ただ手をこまねいているわけにはいきません。WOCを間近に控え、学生、社会人ともに力を合わせて盛り立てていく必要があります。インカレは、今年度からミドルとロングディスタンス競技の開催時期が変更され、ロングはJOA公認東日本大会との併催となったわけですが、これもその一助になればと思います。幸い、この試みは成功裏に終わり、普段インカレには縁遠い社会人も、そして学生もお互いによりき刺激を受けることができたのではないのでしょうか。

今回のミドルとリレー競技はその改革の第2弾となります。開催地は、日本有数の良質トレインを誇り、宿泊にも便利な観光地・日光。まさにインカレのためにあるかのようです。日光では過去数多くの名勝負を生んできました。今回はどのような結末が控えているのか、今から楽しみです。

選手の皆さんにあっては、勝利に向けての準備に余念がないことでしょう。大会当日は、大いにインカレを楽しんでもらいたいと思います。ただ気をつけてほしいことがひとつあります。それはけがです。最近のインカレでは、毎回のように救急車のお世話になるような事態が発生しています。しかも、始めたばかりの1年生に多いような気がします。先のロング競技でも複数回来てもらうことになってしまいました。どんなスポーツでもけがの危険性はつきもので、自己責任と言えるかもしれませんが、しかし、搬送などで地元で重大な迷惑がかかるようなことがあってはなりません。上級生やコーチ、チームオフィシャルの皆さんには、下級生に対して、けがの防止についても日頃から十分な注意喚起や指導をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、仕事や育児、勉学の忙しい合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦労様でした。そして地元関係者の皆様には、様々な面でご協力をいただき本当に有り難うございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
堺 信夫



学生最大の競技会にして最大の祭典、日本学生オリエンテーリング選手権大会（インカレ）を開催できますこと、きっとみなさんと同じ気持ちですね、僕もとてもうれしく思っております。

インカレの歴史を振り返ると、時代と活動環境の移り変わりによって、その開催はかたちを変えてきたことを知ります。団体戦がはじまり、競技2日間制が定着し、ショート競技の導入と秋インカレのスタート。わかりやすく大きなものを挙げましたが、じつのところインカレは毎回何らかの挑戦を行ない、そして変わり続けています。今年度もまた大きな改革が行なわれました。先の11月に開催した秋インカレにおいてはショート競技からロング競技へ、今回の春インカレはクラシック競技をミドル競技と変え、リレー競技とともにスタートします。これらの変更は一朝一夕に行なわれているものではなく、何年も前から議論され、計画され、準備そして推進されてきたものです。インカレの運営にも多くの人の協力と時間が注がれています。幾人かの加盟員とともにインカレロングの運営に携わってわかったことですが、大会開催までにはいくつもの入念な準備や話し合い、作業が行なわれていきます。今回のインカレミドル・リレーを運営してくださっているのは、学連のOBOG、僕たちの先輩たちです。インカレをたのしんできた先輩たちは、そのたのしかったインカレを僕たちに贈ってくださいます。だから、僕たちはインカレを精一杯たのしみましょう。競い合い、応援し、盛り上がり、そして熱くはげよう。僕たちのたのしさがインカレの成功となり、その経験をまた将来に引き継ぐこととなります。

最後になりました。オリエンテーリングとインカレへのご理解、開催へのご協力をいただいた栃木県今市市と日光市のみなさま、ご多忙の中にインカレを準備していただいた実行委員と関係者のみなさま、本当にありがとうございます。日本学連加盟員を代表して、厚く御礼申し上げます。



インカレが再び今市・日光に戻ってきました。歴史を紐解けば、インカレが初の2日間競技大会になったのも今市・日光で開催されたインカレからでした。そして、ミドル&リレーという新しい競技形式に生まれ変わる今回のインカレの開催地が今市・日光というのも、何かの縁かもしれません。

1年生のみなさんにとっては、初めての春のインカレです。私もそうでしたが、先輩たちの話には誘われて何となく来てみたという方もいるかもしれません。良く分からないこともあるかと思いますが、このインカレに参加することでいろいろなエネルギーを感じてもらえれば幸いです。

2年生のみなさんの中には、初めてエリートに参加するという人もいるかもしれません。あるいは、初めてインカレに参加するという方もいるかもしれません。このインカレを通して、新しい発見ができるようなインカレを用意してお待ちしております。

3年生のみなさんの中には、そろそろ慣れてきたよという人もいるかもしれません。ただ、私はどのインカレも一つとして同じインカレというものは存在しないと思います。今回のインカレに参加することで、自分が感じてきたインカレと違った印象が得られることを祈っています。

4年生のみなさんにとっては、いよいよ最後のインカレです。参加者としてインカレに別れを告げる用意はできていますか。

さて、冒頭でも触れましたが、この今市・日光の地でインカレが開催されるのは実に5年ぶりです。その間、様々な問題もありましたが、こうして再びインカレが開催されるのは、ひとえに地元の方々のご理解とご支援のおかげです。最後になりましたが、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。



2004 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、今市市と日光市を会場に全国各地から皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを心から歓迎いたしますとともに、お祝いを申し上げます。

会場地であるここ今市市は、世界一の並木道としてギネスブックに登載されている日光杉並木街道を有し、価値ある歴史・文化遺産として21世紀へ向けての保護をおし「杉並木のまちづくり」を進めております。また「そばのまち今市」を掲げ「そばまつり」の開催をいたしております。

近年、社会体育を取り巻く環境も変化し、余暇の増大や高齢化の進行、生涯学習時代を迎え、それに伴い人々の「生涯スポーツ」への関心と参加は、日ごとに高まりを見せています。

当市におきましても、市民が生涯に渡って年齢や適性に応じて、継続的にスポーツ・レクリエーション活動が行えるよう「一人1スポーツ」を目指し、スポーツの振興に力を入れているところであります。

このような中、全国のオリエンテーリング愛好者の方々をお迎えして生涯スポーツの一大大会であります本大会が開催されますことは、本市にとっても大変意義深いことであると同時に、生涯スポーツやレクリエーションの振興にとっても大いに寄与されるものと確信しております。

さて、オリエンテーリングの目的は自然の中のコースをむやみに走るだけではなく、限られた情報を最大限に活用し、最良のルートをいかに走破するかという知力も兼ね備えていなければなりません。体力が優れていなくても、知力を使ったルート選択次第では勝者になりえるチャンスがあり、このことが面白さ、醍醐味であるのだと思います。

参加者の皆様には、日頃から培ってきた成果を十分に発揮されることはもちろんのこと、結果だけでなくお互いの友好親善を一層深め、思い出に残る素晴らしい大会となりますことを願っております。

おわりに、本大会の開催に際しまして多大なご尽力をいただきました関係各位に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功をご祈念申し上げ歓迎のことばとさせていただきます。

日光市長
眞杉 瑞夫



2004年度日本学生オリエンテーリング選手権大会が、全国各地から選手、役員の皆様をお迎えし、日光市・今市市を会場として盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心から歓迎を申し上げます。

日光市は、日光国立公園の中心に位置し、絢爛豪華な或いは繊細にして重厚な神社仏閣の人工美と四季折々の素晴らしい自然美との調和がとれた国際観光都市として、その名を内外に知られております。

オリエンテーリングは、欧州で生まれ、自然のままの山や丘、森や林、自然そのものを競技場として使いますが、日光の大自然は英国や欧州アルプス地方の山岳湖沼地帯と雰囲気がよく似ていたことから、明治時代には、多くの在日外交官や外国人実業家たちの別荘が、中禅寺湖畔に40以上もたたずみ、夏のシーズンには、相当な賑わいをみせたと言われており、国際的避暑地としても栄え、今でも多くのお客様を迎えています。

これらの悠久の歴史と日光の大自然を背景に、選手の皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮され、競技に臨んでいただきたいと存じます。

また、大会終了後には、人類共有のかけがえのない財産として世界遺産に登録されました日光東照宮をはじめとする「日光の社寺」の歴史的文化遺産や雄大な日光の大自然を満喫していただければ幸いに存じます。

最後に、選手の皆様のご健闘を祈念し、歓迎のあいさついたします。

大会日程表

3月10日(木) <モデルイベント>

13:00 ~	16:00	モデルイベント開設	今市生涯学習センター
---------	-------	-----------	------------

3月11日(金) <開会式・モデルイベント>

9:00 ~	13:00	モデルイベント開設	今市生涯学習センター
12:00 ~		開会式会場開場	藤原町総合文化会館
12:00 ~	14:00	欠場者・オフィシャル変更受付、配布物の配布	藤原町総合文化会館
14:00 ~	14:30	開会式	藤原町総合文化会館
14:30 ~	14:50	テクニカルミーティング	藤原町総合文化会館
15:00 ~	16:00	シード選手紹介	藤原町総合文化会館
16:15 ~	16:45	代表者ミーティング	藤原町総合文化会館
18:00 ~	20:00	夕食	各宿舎
19:00 ~	21:00	インフォメーションデスク開設	星の宿小西

3月12日(土) <ミドル・ディスタンス競技部門/トレイルO>

6:00 ~	7:30	朝食	各宿舎
6:45 ~	8:45	バス輸送(選手村バスストップ 大会会場)	選手村バスストップ
7:00		大会会場開場	今市少年自然の家
9:00 ~		選手権予選競技開始	
9:00 ~	12:30	トレイル O 受付	トレイル受付テント
9:00 ~	13:00	トレイル O 競技	
10:00 ~		一般の部競技開始	
10:30 ~	12:30	弁当配布	受付テント
10:47		選手権予選フィニッシュ閉鎖	
11:00		選手権予選成績発表	
11:00 ~	12:00	選手権 A-Final 出場者受付	受付テント
11:47		選手権 A-Final スタートリスト発表	
12:00 ~	12:30	選手権 B-Final 競技開始	
12:05 ~	13:05	選手権 A-Final スタート待機所へバス移動 (12:05 / 12:35 / 13:05)	
13:00		選手権 A-Final 競技開始	
13:30		一般の部 / 選手権 B-Final フィニッシュ閉鎖	
13:30 ~	16:30	バス輸送(大会会場 選手村バスストップ)	
14:50 ~		表彰式	
15:00 ~	16:00	リレーオーダー用紙の提出	受付テント
15:18		選手権 A-Final フィニッシュ閉鎖	
16:00 ~	16:15	代表者ミーティング	本部テント前
18:00 ~	19:30	夕食	各宿舎
19:00 ~	21:00	インフォメーションデスク開設	星の宿小西

3月13日(日) <リレー競技部門/スプリント競技>

6:00 ~	7:30	朝食	各宿舎
6:30	8:00	バス輸送	選手村バスストップ
7:00		大会会場開場	今市少年自然の家
8:00 ~	8:30	リレー選手変更受付(ME)	受付テント
8:00 ~	8:45	リレー選手変更受付(WE) 欠場者最終受付	受付テント
9:00 ~	9:10	デモンストレーション	スタート・フィニッシュ地区
9:30		ME 競技開始	スタート・フィニッシュ地区
9:45		WE 競技開始	スタート・フィニッシュ地区
9:55		MUR 競技開始	スタート・フィニッシュ地区
10:05		WUR/XUR/MUS/WUS 競技開始	スタート・フィニッシュ地区
10:30 ~	12:30	弁当配布	受付テント
12:50		選手権の部リスタート	スタート・フィニッシュ地区
13:00		一般の部リスタート	スタート・フィニッシュ地区
13:00		地図返却・販売・配布開始	受付テント
13:00 ~	16:00 頃	バス輸送(大会会場 選手村バスストップ、日光駅)	
13:30		一般の部表彰式	
14:00		選手権の部表彰式	
14:30 ~		閉会式	
14:35		一般の部フィニッシュ閉鎖	
14:45		選手権の部フィニッシュ閉鎖	

目次	
ご挨拶・歓迎の言葉	1
大会日程表	4
目次	5
1. はじめに	6
2. インカレ全般	7
2.1 立ち入り禁止区域について	
2.2 インカレ実施規則について	
2.3 気象情報について	
2.4 選手村について	
2.4.1 レイアウト図	
2.4.2 宿舍の割り振り・連絡先	
2.4.3 チェックイン・チェックアウト	
2.4.4 荷物・自家用車の保管	
2.4.5 食事・入浴	
2.4.6 インフォメーションデスク	
2.5 その他の注意事項	
2.5.1 傷害保険・保険証	
2.5.2 キャンセルについて	
2.5.3 主管者連絡先	
2.5.4 その他	
3. モデルイベント開設前 [3 / 9 (水)]	13
4. モデルイベント [3 / 10 (木) ~ 3 / 11 (金)]	13
4.1 モデルイベント開設期間	
4.2 モデルイベント使用地図	
4.3 モデルイベント会場	
4.4 モデルイベント会場までの交通	
4.5 モデルイベント利用手続方法	
4.5.1 受付	
4.5.2 e-cardの貸し出し	
4.6 モデルイベント内容	
4.7 モデルイベント注意事項	
5. 開会式 [3 / 11 (金)]	15
5.1 開会式会場	
5.2 大会受付	
5.2.1 配布物	
5.2.2 欠場受付	
5.2.3 チームオフィシャル変更受付	
5.3 公式掲示板	
5.4 開会式	
5.5 テクニカルミーティング	
5.6 シード選手紹介	
5.7 代表者ミーティング	
5.8 開会式会場から選手村への移動について	
5.9 インフォメーションデスク	
6. ミドル・ディスタンス競技 [3 / 12 (土)]	18
6.1 競技情報	
6.1.1 選手村から会場への移動	
6.1.2 会場レイアウト	
6.1.3 選手権予選	
6.1.4 選手権 A-Final	
6.1.5 選手権 B-Final	
6.1.6 一般の部	
6.1.7 弁当配布	
6.1.8 表彰式	
6.1.9 リレーオーダー用紙提出	
6.1.10 代表者ミーティング	
6.1.11 会場から選手村への移動	
6.1.12 インフォメーションデスク	
6.2 選手権予選	
6.3 選手権 A-Final	
6.4 選手権 B-Final	
6.5 一般の部	
7. リレー競技 [3 / 13 (日)]	30
7.1 競技情報	
7.1.1 選手村から会場への移動	
7.1.2 会場レイアウト	
7.1.3 選手変更および、欠場者最終受付	
7.1.4 デモンストレーション	
7.1.5 競技に関する全般的注意事項	
7.1.6 弁当配布	
7.1.7 地図返却	
7.1.8 地図販売および配布	
7.1.9 備品返却	
7.1.10 表彰式	
7.1.11 閉会式	
7.1.12 表彰式・閉会式会場からの帰路	
7.2 リレー競技(選手権の部)	
7.2.1 1走スタート	
7.2.2 チェンジオーバー	
7.2.3 フィニッシュ	
7.2.4 リスタート	
7.2.5 失格	
7.2.6 ウィニングラン	
7.3 リレー競技(一般の部)	
7.3.1 1走スタート	
7.3.2 チェンジオーバー	
7.3.3 フィニッシュ	
7.3.4 リスタート	
7.3.5 失格	
7.4 スプリント競技	
7.4.1 スタート	
7.4.2 フィニッシュ	
8. 競技情報	36
8.1 地図	
8.2 テレインの概要	
8.3 テレインに関する情報	
8.4 コースに関する情報	
8.4.1 コース設定者	
8.4.2 コース距離・登距離	
8.5 e-cardについて	
8.5.1 電子バンチングシステムの概要	
8.5.2 e-card 使用上の注意点	
8.5.3 コントロールで間違った記印をした場合の対処法	
8.5.4 その他注意事項	
8.6 ナンバーカード	
8.7 公式掲示板	
8.8 救護所	
8.9 調査依頼・提訴	
8.9.1 調査依頼	
8.9.2 提訴	
8.10 テープ誘導色一覧	
9. チームオフィシャルリスト	40
10. ミドル選手権の部 エントリーリスト	41
11. ミドル一般の部 スタートリスト	44
12. リレー選手権の部 チーム番号リスト	46
13. リレー一般の部 チーム番号リスト	47
14. ミドル参加者数一覧	48
15. リレー参加チーム数一覧	49
16. 日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則	50
トレイル・O競技 [3 / 12 (土)]	59
1 受付・スタート	
2 地図	
3 コース	
4 テレインプロフィール	
5 競技	
6 競技方法	
7 フィニッシュ	
8 結果発表・表彰	
9 スタート時刻(事前申込者)	
10 その他	
11 申込リスト	

1. はじめに

本大会では要項2に記載のとおり、日本学生オリエンテーリング選手権大会（インカレ）実施規則第2条に定められた『個人ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門』（以下、選手権の部）を実施する。同時に上記2競技部門に出場しない学連加盟員のための競技部門（以下、一般の部）を併設開催する。各競技クラスに次のような略称を用いることがある。

ミドル：個人ミドル・ディスタンス競技部門

リレー：3名によるリレー競技部門

選手権予選：個人ミドル・ディスタンス競技部門 予選レース競技

選手権 A-Final：個人ミドル・ディスタンス競技部門 決勝レース競技

選手権 B-Final：個人ミドル・ディスタンス競技部門 予選不通過者対象レース競技

ME：男子選手権の部

WE：女子選手権の部

本大会では、全競技クラス(トレイル-Oを除く)においてEMIT（ノルウェーEMIT社製電子パンチングシステム）を使用する。これに伴い、本プログラムでは次のような用語を使用している。e cardの詳細については37ページに示す8.5を参照すること。なお、要項2に記載されているEMITタッチフリーコントロールは使用しない。

使用システム	用語	用語の意味
EMIT	e card	従来の「コントロールカード」に代わり、コントロールの通過を記録する器具。競技者が手に持って走る。
	アクティベート	スタート前にe cardをスタートユニットにはめ込み、e cardを起動させること。
	スタートユニット	競技前にe cardをアクティベートするための器具。e cardが正常に作動すればスタートユニット上のランプが赤く点滅する。
	コントロールユニット	従来の「パンチ」に代わり、コントロールにおいて記印を行うための器具。e cardをはめ込んで使用する。

その他、本プログラムでは以下のような専門用語を用いている。

用語	用語の意味
リスタート	リレーにおいて一定時間以上遅れたチームに対して行う繰上げスタートのこと。
リフトアップスタート	スタートユニットからe cardを外すことでスタートする方式。
パンチングフィニッシュ	計時線通過によるフィニッシュ方式と異なり、ゴールを示すユニットにて記印した時刻を正式なフィニッシュタイムとする方式。

- 携帯電話用情報サイトについて

本大会ではミドルの成績速報、リレーのオーダー表等を携帯電話等で見られるよう下記に掲載する予定である。

<http://www.orienteering.com/~ic2004/mobile/>

掲載は12日18時以降を予定している。

2. インカレ全般

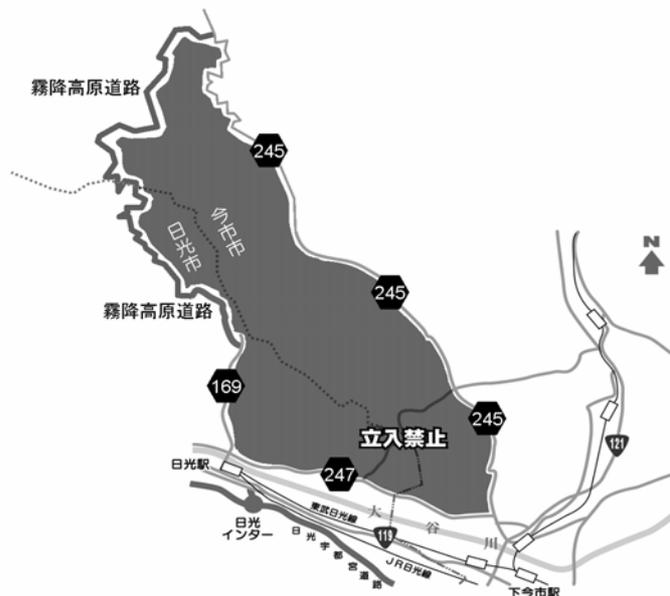
2.1 立ち入り禁止区域について

要項1に記載のとおり参加者は、競技中を除き、大会終了まで以下に示す地域への立ち入りを禁止する。

立ち入り禁止区域

今市市、日光市の山林のうち、県道169号【青柳日光線】、県道245号【青柳今市線】、県道247号【今市日光線】、及び霧降高原有料道路で囲まれた区域（下図）

禁止区域外周の県道169号【青柳日光線】、県道245号【青柳今市線】、県道247号【今市日光線】、及び霧降高原有料道路は除く。



2.2 インカレ実施規則について

本大会では、50～58ページに掲載されている「日本学生オリエンテーリング選手権大会(インカレ)実施規則」が適用されている。参加者は、実施規則を熟読しておくこと。

2.3 気象情報について

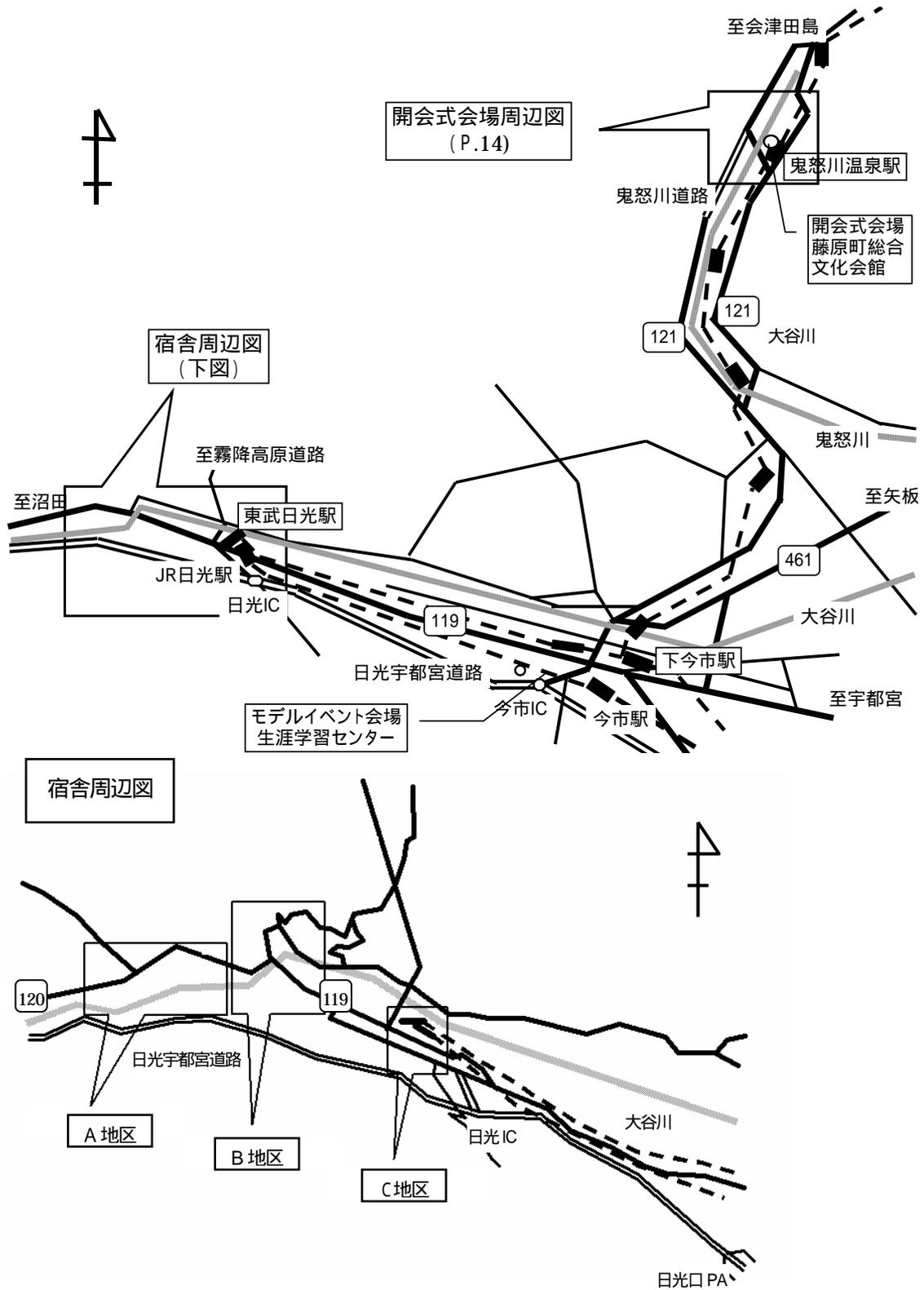
本大会が開催される3月11日から3月13日の今市市、日光市、宇都宮市における過去5年間の気象情報は、次に示すとおりである。ミドル、リレーのテレインは今市の観測所の気温とほぼ同等と予想される。なお表を作成するにあたって気象庁ホームページの電子閲覧室 (<http://www.data.kishou.go.jp/>) を参考とした。

		今市 北緯36度43.4分 東経139度40.8分					日光 北緯36度44.2分 東経139度30.2分					宇都宮 北緯36度32.9分 東経139度52.1分	
日時		気温(℃)			日照時間	降水量	気温(℃)			日照時間	降水量	天気概況	
		最高	最低	平均	(h)	(mm)	最高	最低	平均	(h)	(mm)	(日中)	
2000年	3月11日	7.4	-5.1	1.5	3.5	0	2.6	-10.9	-2.1	--	2	薄曇	
(平成12年)	3月12日	8.3	-1.4	3.5	4	0	3.9	-5.2	-1.6	0	6.5	曇後晴	
	3月13日	11.3	-3	2.9	10.2	0	1.9	-7.7	-3.6	0	8.6	晴	
2001年	3月11日	4.2	-4.7	-0.3	8.1	0	-3.4	-9.9	-6.9	0	10.6	晴	
(平成13年)	3月12日	3.6	-3.3	-0.1	5	3	-2.7	-11.7	-6.4	3	欠測	晴時々曇	
	3月13日	4.7	-5.2	-0.6	10.7	3	-1.7	-10.9	-6.4	1	11.1	快晴	
2002年	3月11日	11.8	0.9	5.7	10.8	0	3.8	-3.2	0.3	0	11.1	快晴	
(平成14年)	3月12日	13.8	0	6.5	8.4	0	5.8	-3.3	2	0	6.9	晴後一時曇	
	3月13日	11.3	-1.6	4.7	10.9	0	5.4	-3.8	-0.2	0	11.2	快晴	
2003年	3月11日	4.2	-5.7	-1.2	10	0	-4.6	-10.7	-7.6	0	8.9	晴	
(平成15年)	3月12日	6.1	-4.7	0.2	9.7	0	0	-10.7	-5.8	0	10.3	晴	
	3月13日	7.2	-5.1	0.3	8.2	0	0.9	-11.4	-5.3	--	10.6	晴後一時曇	
2004年	3月11日	21.8	2.6	9.8	6.3	0	12.2	4.1	7	--	5.2	薄曇時々晴	
(平成16年)	3月12日	9.9	-0.3	4.9	3.5	0	5.3	-2.8	1	--	2.7	曇	
	3月13日	13.4	-2	3.9	10	0	4.8	-6.1	-0.8	--	9.4	晴	

2.4 選手村について

2.4.1 レイアウト図

選手村の地図を以下に示す。

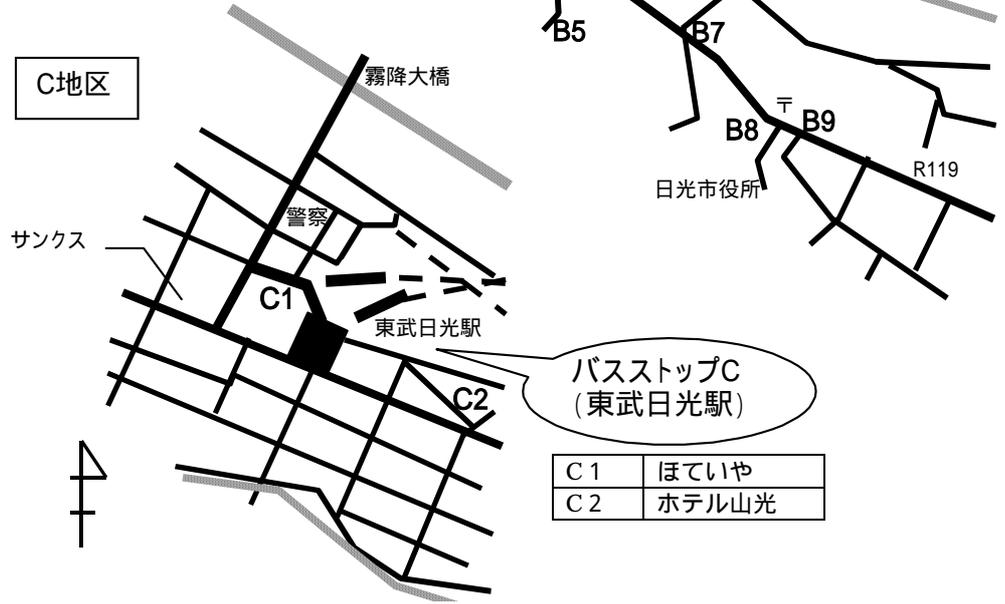




A 1	懐かし家風和里
A 2	ほとり庵
A 3	タートルイン日光
A 4	ホテルいろは
A 5	鶴亀大吉



B 1	日光東観荘
B 2	ホテル清晃苑
B 3	ホテル高照
B 4	梅屋敷
B 5	星の宿小西
B 6	お宿神橋小西
B 7	上州屋
B 8	会津屋
B 9	大野屋



C 1	ほていや
C 2	ホテル山光

2.4.2 宿舎の割り振り・連絡先

- 選手は、日光市内の宿舎に分宿する。宿舎の割り振りを以下に示す。
各宿舎の位置は選手村レイアウト図（P.8およびP.9）を参照すること。
- 宿舎の割り振りの変更される場合は該当校にのみ連絡する。

No	旅館名	電話番号（0288）	学校名
A1	懐かしの宿風和里	54 2002	東京工業大学、名古屋大学、椋山学園大学、立命館大学、奈良女子大学
A2	ほとり庵	53 3663	山口大学
A3	タートルイン日光	53 3168	茨城大学
A4	ホテルいろは	54 1563	大阪大学、関西大学、大阪外国語大学
A5	小槌の宿鶴亀大吉	54 1550	千葉大学
B1	日光東観荘	54 0611	慶應義塾大学、横浜国立大学、相模女子大学
B2	ホテル清晃苑	53 5555	東京農工大学
B3	ホテル高照	53 1311	筑波大学、図書館情報大学、東京農業大学、埼玉大学
B4	梅屋敷旅館	54 1145	東北大学、宮城学院女子大学、新潟大学
B5	星の宿小西	54 1105	東京理科大学、早稲田大学、日本女子大学、東京都立大学、京都橘女子大学
B6	お宿神橋小西	54 1101	岩手大学、岩手県立大学、福島大学
B7	上州屋旅館	54 0155	大阪市立大学、神戸大学
B8	会津屋旅館	54 0039	静岡大学
B9	大野屋旅館	54 1166	北海道大学、中央大学
C1	ほていや旅館	54 0107	電気通信大学
C2	ホテル山光	54 0078	金沢大学、東京大学、実践女子大学、一橋大学、東京女子大学、津田塾大学、京都大学、京都女子大学、龍谷大学、岡山大学

2.4.3 チェックイン・チェックアウト

- 11日のチェックインは、各宿舎において学校ごとに行う。大会受付で各校に配布する宿泊券を各宿舎の受付に提出すること。なお、各校の代表者は開会式終了後の代表者ミーティングに参加しているので、チェックインの担当者をあらかじめ別々に割り当てておくことが望ましい。
- 宿舎では、各宿舎の取り決めに従うと共に、一般的な常識をわきまえて行動すること。
- 各部屋に備え付けの冷蔵庫・電話の使用は原則として禁止する。使用した場合はチェックアウトの際各自の責任において精算すること。
- 競技に向かう時や外出する時はキーをフロントに預けること。
- 競技で使用した靴で宿舎に入らないこと。
- 13日のチェックアウトの際は忘れ物に注意すること。

2.4.4 荷物・自家用車の保管

- 選手の荷物や自家用車は、11日午前（開会式開始前）～13日夕方（閉会式終了後）まで各宿舎に預けることができる。詳細については、各自で宿舎へ問い合わせること。
- 貴重品は各自で管理すること。宿舎を離れるときは忘れずに持っていくこと。

2.4.5 食事・入浴

- 11日、12日の夕食および12日、13日の朝食は各宿舎の所定の場所で取ること。
- 夕食は、11日は18:00～20:00の間、12日は18:00～19:30の間に取ること。なお、食事の時間までに宿舎に到着できない場合は事前に宿舎に連絡しておくこと。
- 朝食は、12日、13日とも6:00～7:30の間に摂ること。

- 入浴時間は各宿舍の指示に従うこと。
- 食事のメニューは基本的に統一されているものである。

2.4.6 インフォメーションデスク

- 11日・12日の19:00~21:00の間、星の宿小西にインフォメーションデスクを設置する。
- インフォメーションデスクでは、大会に関する問い合わせ、トラブル・不慮の事故などへの対応などの業務を行う。また、12日は選手権 A-Final 全出走選手のラップ表およびリレー選手権の部のオーダー一覧を配布する。
- 両日とも21:00以降の緊急の場合は、役員携帯電話に連絡すること。(090 3961 8730 武政泰輔)

2.5 その他の注意事項

2.5.1 傷害保険・保険証

- 本大会では傷害保険に加入している。この保険は、3月11日の開会式~13日の閉会式終了までの間適用される。
- 怪我などにより治療を受けた場合は、通院以上で、次のような保険金が支払われる。
 - 死亡・後遺傷害：300万円
 - 入院：3,500円/日(180日限度)
 - 通院：1,840円/日(事故の日から180日以内の間で90日限度)
- この傷害保険についての問い合わせ・保険の請求などについては、日本旅行まで問い合わせること。連絡先は以下のとおりである。なお、大会期間中は会場(本部付近)に常駐している。

(株)日本旅行東京南支店：正能・小林
 〒104 0031 東京都中央区京橋1 17 10 内田洋行ビル2階
 TEL: 03 3567 2587 FAX: 03 3567 3985
 e mail: orienteering@nta.co.jp

- 遠隔地の参加者はインカレ開催地までの移動が長距離になるため、往復時の事故等に備えるために各自で国内旅行保険(500円から1,000円程度で各旅行会社・保険会社で取り扱っている)をかけておくことが望ましい。
- 万一来場、健康保険証のコピーを持参しておくこと。

2.5.2 キャンセルについて

- 《宿泊費・昼食代》・《輸送費・傷害保険料等》については、キャンセルによる返金に応じる。ただし、参加費は返金しない。
- 返金の手続きの方法は「申込の手引き」を参照すること。
- キャンセル料は、以下のとおりである。なお、キャンセル料は主管者がキャンセルを受理した日付をもとに算出する。

《宿泊費・昼食代》・《輸送費・傷害保険料等》に対して	
2月17日(木)まで	30%
2月18日(金)~3月3日(木)	50%
3月4日(金)以降	100%

- キャンセルについての問い合わせは以下のところで受け付ける。

エントリー責任者：小田 尚徹(おだ なおゆき)
 〒170 0011 東京都豊島区池袋本町1 15 15 203
 携帯:090 4334 7098 電話:03 5956 2836 e mail:naoyuki.oda@nifty.com

2.5.3 主管者連絡先

- 主管者の連絡先を以下に示す。なお、問い合わせなどはメールにて行うこと。

大会実行委員長：針谷 尚幸（はりがや なおゆき）
e mail: nao_hurry@hotmail.com

- 3月10日～3月13日の緊急連絡先は以下のとおりである。

針谷 尚幸（はりがや なおゆき） TEL:090 9688 8937

2.5.4 その他

- 大会期間中の選手村と競技会場の往復は、すべて専用バスを利用すること。
- 競技会場やスタートへの移動は、本プログラムに示された以外の手段を用いてはならない。
- ミドル・リレー（3月12日・13日）とも、競技時間中（7:00～15:30）は携帯電話・PHS等の使用を禁止する。
- 競技会場（スタート地区などを含む）には、下記のものを持ち込んで서는ならない。持ち込んだことが発覚した場合は、失格などの措置をとる場合がある。なお、選手権予選、一般の部、選手権 B-Finalの地図の持ち込みは許可する。
 - 無線機
 - 要項1発表における立ち入り禁止区域内の地図およびそれに類するもの（O Map、行政図、コピー、写真、イラストなど）
 - 『日光霧降』、『日光所野』
- 大会期間中は、喫煙所を除いて競技会場および移動バス内では禁煙とする。
- すべての競技者・チームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が発生した場合には、最寄りの役員、あるいは大会本部に連絡すること。

インカレ報告書の広告募集！

報告書に、あなたのクラブや大会などの広告を載せてみませんか？ どしどしお申し込みください。

	1コマ(1/8ページ)	2コマ(1/4ページ)	4コマ(1/2ページ)	8コマ(1ページ)
営利団体	4,000円	7,000円	10,000円	20,000円
非営利団体	2,000円	3,500円	5,000円	10,000円

裏表紙、表紙見返し、裏表紙見返しを希望される方は、問い合わせ先までご相談ください。

1ページ=B5

- ・原稿送付先： 〒195-0057 東京都町田市真光寺1-6-10 山根 洋之
- ・問い合わせ： E-mail(推奨) yamaneh@m3.ocv.ne.jp
携帯電話 090-2499-3073
- ・振込先： 口座番号： 00250-0-112826
加入者名： 中谷 彰吾

(お振込の上、原稿とともに「振込日」、「振込人名」、「振込額」を明記(フリーフォーマット)した別紙を同封して送付先にお送りください)

- ・原稿締め切り：2005年3月31日必着

3. モデルイベント開設前 [~ 3 / 9 (水)]

- モデルイベントテレインは、2005年3月9日までトレーニング用に開放されているが、要項2掲載のとおり使用時の申請方法については各大学の渉外担当に問い合わせること。
- 2005年3月6日まではモデルイベントテレイン内に一時的にフラッグを設置することを認める。その翌日(2005年3月7日)以降、テレイン内にフラッグ等を設置した状態にすること、また新たにフラッグを設置することを禁ずる。

4. モデルイベント [3 / 10 (木) ~ 11 (金)]

4.1 モデルイベント開設期間

3月10日(木) 13:00~16:00

3月11日(金) 9:00~13:00

4.2 モデルイベント使用地図

- モデルイベントテレインの地図(コントロール位置印刷済、1:10,000)は、プログラムと共に配布する予定である。また、モデルイベント会場の受付においても若干数の地図を販売する。(1枚500円)
- モデルイベント用地図は耐水加工されていない。

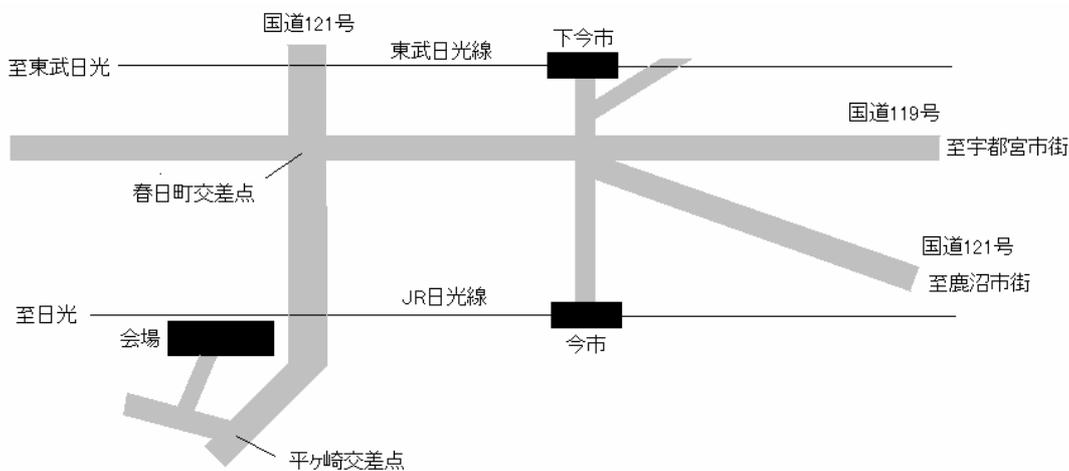
4.3 モデルイベント会場

今市生涯学習センター(栃木県今市市平ヶ崎162)(今市市文化会館 施設内)

- 一般利用者也利用するので常識の範囲内で、迷惑のないように振舞うこと。
- センターの駐車場が利用可能である。

4.4 モデルイベント会場までの交通

- 東武線下今市駅より徒歩約25分である。
- テープ誘導は特に設けないので、下図を参考に注意して来場すること。



4.5 モデルイベント利用手続方法

4.5.1 受付

- モデルイベント参加者は必ず、入山時に会場の受付に立ち寄り、ノートに氏名・学校名・携帯電話番号・出発時刻を記入すること。
- 下山時にも必ず会場の受付に立ち寄り、下山時刻を記入すること。

4.5.2 e-cardの貸し出し

- 会場の受付にて、希望者に練習用 e-card を貸し出す。但し数には限りがあるので、個人所有の e-card (主管者から貸し出すカード以外のカード) を持つ者はできる限りそれを使用すること (その際も入山・下山手続きは必ず行うこと)

4.6 モデルイベント内容

- モデルイベントで使用するテレインは、実際の競技で使用するテレインと類似している。
- モデルイベントで設置する器具や、その他設置状況は以下のとおりである。

	設置器具	内容
1	コントロール	電子パンチングシステム (EMIT) のコントロールユニットの見本を会場内に設置する。また、モデルイベントテレイン内の全コントロールには、フラッグ及びコントロールユニットが設置されており、フラッグの見え方や設置状態を確認できる。
2	スタート地区	選手権 A-Final のスタート地区に準じた設備を設置する。
3	最終コントロールからフィニッシュまでのテープ誘導	選手権予選に準じた誘導テープを設置する。
4	フィニッシュ地区	ミドル一般の部に準じて、パンチングフィニッシュのためのコントロールユニットを設置する。
5	立ち入り禁止を示すテープ	会場内に見本を設置する。
6	給水所	設置しない。

4.7 モデルイベント注意事項

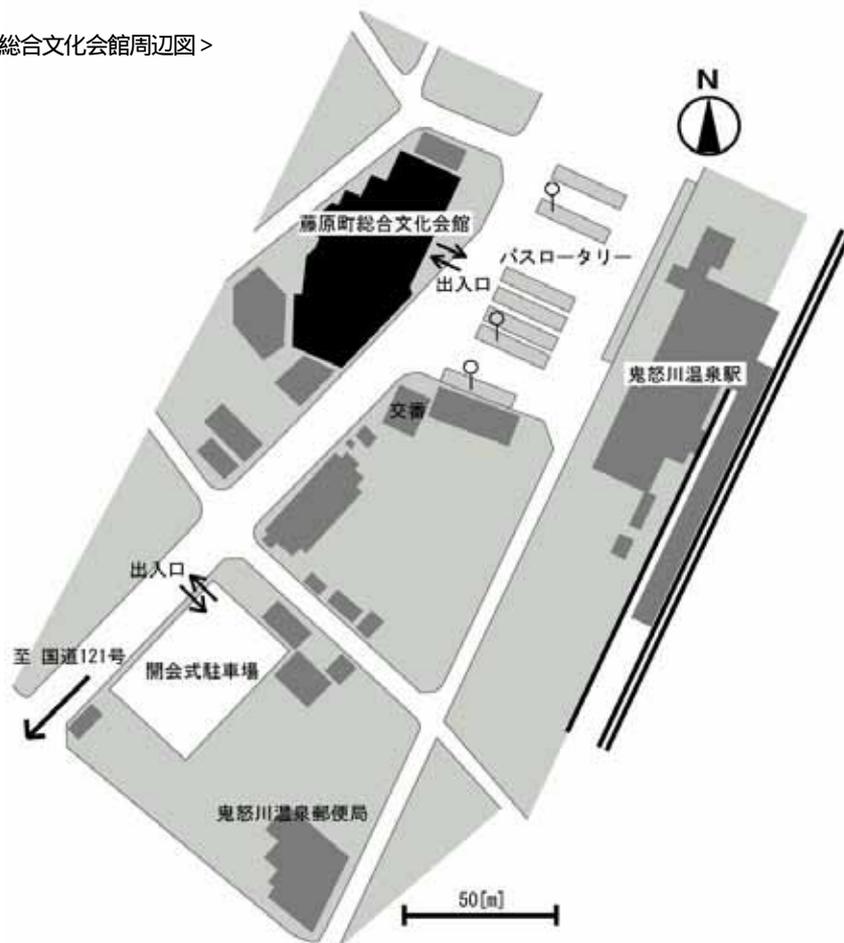
- 当モデルイベントテレインは、オリエンテーリングテレインとして長期間利用することを想定している。そのため、地元との関係は重要である。当然、挨拶や民家田畑へ立ち入らない等の基本的マナーを厳守すること。
- モデルイベント開設期間中は、主管者では傷害保険に加入していないので怪我には十分注意すること。
- モデルイベント開設期間中、主管者が設置した以外のコントロールフラッグ・テープなどのモデルイベントテレイン内での設置は一切認めない。
- 下山時刻は厳守すること。下山時刻は、3月10日は16:00、3月11日は13:00である。下山時刻までには、必ず会場に戻り、受付に立ち寄りすること。
- モデルイベントテレインと会場の間にはテープ誘導を設ける。所要時間はおよそ15分程度である。
- モデルイベント使用中の緊急連絡は090 5808 4762 (菊澤) へ行うこと。
- 会場およびテレイン内は火気厳禁である。
- ゴミは必ず持ち帰ること。

5. 開会式 [3 / 11 (金)]

5.1 開会式会場

- 開会式は、藤原町の「藤原町総合文化会館内ホール」にて行う。
- 会場まで公共交通機関を利用する場合は、東武鉄道下今市駅で東武鬼怒川線「新藤原」方面行きに乗車し、鬼怒川温泉駅にて下車となる。会場まで徒歩で約2分である。
- 自家用車を利用する場合は、会場の駐車場を利用することができる。駐車場から会場まで徒歩で約3分である。また、会場の駐車場が満車の場合、近隣の有料駐車場を利用すること。
- 開場時刻は12:00を予定している。
- 館内での飲食は禁止する。また、館内を汚すような格好での入館も禁止する。

< 藤原町総合文化会館周辺図 >



< 東武鉄道：下今市駅 鬼怒川温泉駅（平日） >

下今市駅	11:12 発	12:20 発	13:20 発
鬼怒川温泉駅	11:31 着	12:41 着	13:41 着

5.2 大会受付【12:00～14:00】

5.2.1 配布物

- 大会受付を開会式会場の入口に設置する。各校の代表者は必ず大会受付を通ること。
- 大会受付では以下のものを配布する。中身を確認すること。
 - チームオフィシャル用 ID カード
各校のチームオフィシャルであることを示すもの。チームオフィシャルがいる学校に配布する。チームオフィシャルは、大会期間中必ず携行すること。

- e card、バックアップラベル
e cardは選手1名につき1枚配布され、両日使用する。バックアップラベルはミドル選手権の部に出場する者に対してはミドル用2枚、リレー用1枚の計3枚をミドル選手権の部に出場しない者に対してはミドル用・リレー用1枚ずつ計2枚配布する。
- ナンバーカード、安全ピン
選手権予選・選手権B-Final、リレー・スプリントにおいて使用する。ミドルのナンバーカードはレーンごとで色分けされている。
- ピニール袋、ネームタグ
防寒着等輸送に使用する。
- リレーオーダー用紙
「オーダー用紙(選手権の部)」、「オーダー用紙(一般の部)」、「スプリントクラス申し込み用紙・欠場届」、「混成チーム編成届」、「リレー直前変更届」
- リレーオーダー用名前シール
リレーのオーダー用紙を記入する際に使用する。
- テクニカルミーティング質問用紙
- 競技に関する質問を記入する用紙。テクニカルミーティング終了後に回収する。詳しくは開会式で指示する。
- 宿泊券ほか日本旅行からの配布物
チェックインするときに、宿泊券を宿舎に提出すること。
- トレイル-0コントロールカード
事前申込を行った参加者1名につき、1枚発行する。
- 受け取れなかった場合
受け取り場所は、17ページに示す5.9に示すインフォメーションデスクとする。

5.2.2 欠場受付 (12:00~14:00)

- 学校代表者はこの時点で不参加がわかっている場合、欠場届を大会受付に届けること。
- 欠場届はエントリーサイトに掲載されているので必要に応じて印刷すること。
- 忘れた場合は大会受付へ申し出ること。
(<http://matoba.minidns.net/entry-ic2004spring/> の「遅れエントリーについて」を参照のこと)

5.2.3 チームオフィシャル変更受付 (12:00~14:00)

- 3月4日以降にチームオフィシャルを変更することになった学校は、所定の用紙に記入の上、受付に提出すること。
- 変更前後でチームオフィシャルの性別が異なる場合、宿泊に不都合が生じる場合がある。
- 変更受付終了後は、チームオフィシャルの変更は認めない。

5.3 公式掲示板【12:00~16:15】

- 公式掲示板を会場内に設置する。
- 本プログラムの発行後、変更のあった事項は公式掲示板により発表する。
- 公表される情報は以下のとおりである。
 - チームオフィシャルの変更
 - 裁定委員の氏名
- 公式掲示板に提示された内容は、代表者ミーティングでも知らせる。

5.4 開会式【14:00~14:30】

- 開会式は以下の内容を予定している。
 - 開会宣言
 - 主催者挨拶
 - 来賓挨拶
 - 優勝旗/優勝杯返還およびレプリカ贈呈
 - 選手宣誓

- 選手宣誓は、予選男子第1レーン、女子第1レーンのトップスタートの者が行う事とする。

5.5 テクニカルミーティング【14:30～14:50】

- 競技責任者が、競技に関する事項を中心に、情報提供および諸注意を行う。
- テクニカルミーティング終了後、競技に関する質問を受け付ける。ただし、主管者側で不適当と判断した事項については回答しない。
- 質問は大会受付で配布される質問用紙に記入し、開会式で指示する方法に従って提出すること。
- 質問に対する回答は、この後に行われる代表者ミーティングにて行う。

5.6 シード選手紹介【15:00～16:00】

- シード選手はテクニカルミーティング終了後に司会者席前付近に集まること。
- シード選手紹介終了後、代表者ミーティングに参加しない者は16:30までにホールから退出すること。公共交通機関を利用して選手村へ移動する際には、本数に限りがある。本ページに示す5.8を参考に各自指定の公共交通機関に乗車すること。

5.7 代表者ミーティング【16:15～16:45】

- 代表者ミーティングは、ステージ前にて行う予定である。変更等は、放送などで連絡する。
- 参加できるのは、チームオフィシャルを含めて各校2名までとする。チームオフィシャルは必ずIDカードを持参すること。
- 代表者ミーティングは、以下の内容で行われる。
 - 注意事項の確認
 - テクニカルミーティング後に提出された質問に対する回答

5.8 開会式会場から選手村への移動について

- 開会式会場から選手村へは各自で移動すること。
- 公共交通機関を利用する場合は、「鬼怒川温泉駅」から東武鬼怒川線および東武日光線を利用し、「東武日光駅」で下車するのがよい。運賃は300円である。なお、途中の「下今市駅」にて乗換となるので、電車の乗り間違えには注意すること。
- 下車駅の「東武日光駅」からは、駅から遠方となる宿泊者のために送迎バスを運行する。A地区およびB地区の一部（B1～B4）に宿泊する者は、移動手段として利用することができる。開会式終了に合わせて運行するので、役員の指示に従い、乗車すること。なお、B地区の一部（B5～B9）およびC地区の宿泊者は、「東武日光駅」にて下車後、徒歩または路線バス等を利用して各自宿舎へ向かうこと。
- 公共交通機関の経路および時刻については、参考として以下に示す。

鬼怒川温泉駅 (開会式会場)	下今市駅 (乗換)		東武日光駅 (宿舎周辺)		
	着	発	着	路線バス 発	送迎バス A地区、B1～B4宿泊者用
発	着	発	着	路線バス 発	送迎バス A地区、B1～B4宿泊者用
16:45	17:06	17:20	17:27	17:31 17:36	運行予定
-	-	17:41	17:50	18:05	運行予定
17:32	17:54	18:00	18:09	-	運行予定
17:47	18:08	18:18	18:25	18:30	運行予定

- 各宿舎の位置・連絡先についてはP.8、P.9の選手村レイアウトを参照すること。
- 各宿舎の駐車場の利用についての詳細は、各自で宿舎に問い合わせること。

5.9 インフォメーションデスク【19:00～21:00】

- インフォメーションデスクは19:00～21:00に星の宿小西に設ける。トラブル・不慮の事故が発生した場合、直ちに連絡して指示を受けること。
- 21:00以降の緊急の場合は、役員携帯電話に連絡すること(090 3961 8730 武政泰輔)。

6. ミドル・ディスタンス競技 [3 / 12(土)]

6.1 競技情報

6.1.1 選手村から会場への移動

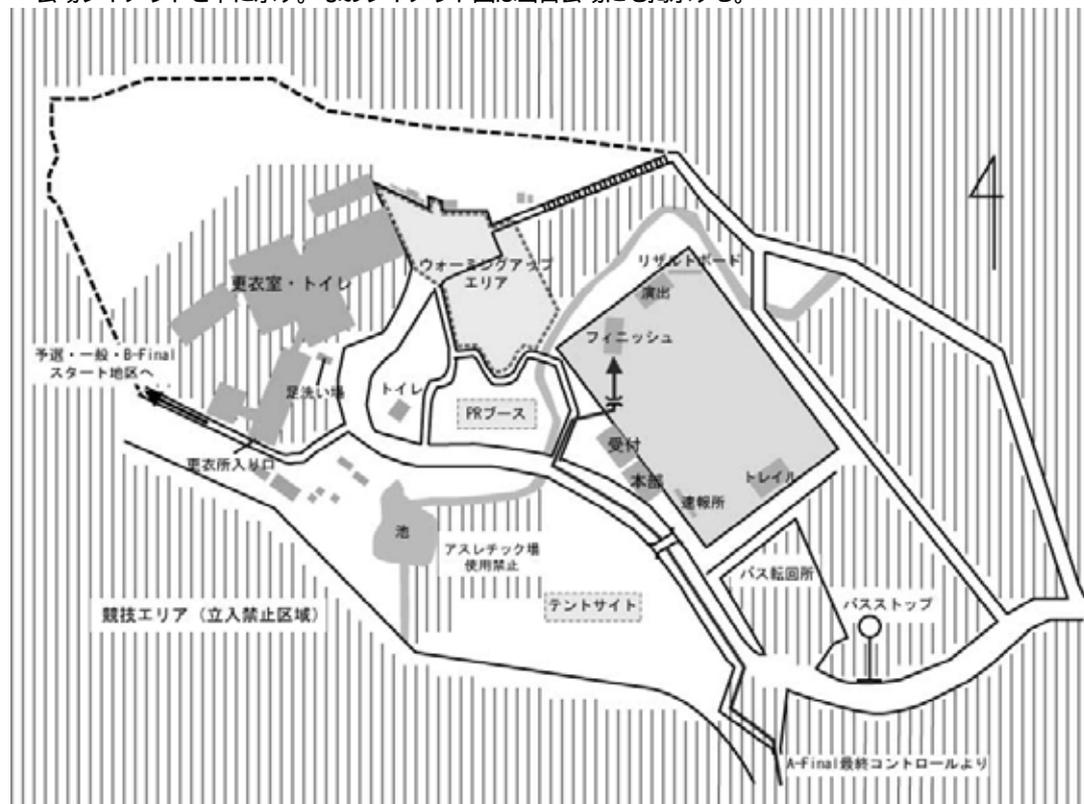
- 選手は選手村のバスストップから競技会場バスストップまで、専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図(8~9ページ)を参照のこと。
- バスストップへの集合時刻を下記に示す。各自スタート時刻の目安を参考に集合し、乗車すること。
- バスの会場到着が到着限界時刻に遅れた場合、スタート時刻を遅らせるなどの対応をする場合があるので、役員の指示に従うこと。
- 競技会場バスストップまでのバス所要時間は30分程度である。
- チームオフィシャルは、選手専用バスに空席があれば乗車できる。下記の時刻表を参照のこと。

【バスストップ集合時刻】

No	バスストップA,B,C共通	スタート時刻の目安	到着限界時刻
1	6:45	9:00~9:14	8:15
2	7:15	9:15~9:44	8:30
3	7:45	9:45~10:14	9:00
4	8:15	10:15~10:44	9:30
5	8:45	10:45~	10:00

6.1.2 会場レイアウト

会場レイアウトを下に示す。なおレイアウト図は当日会場にも掲示する。



- 女子更衣室は建物内に用意される。ただし女子更衣室内に荷物を置くことはできない。
- トイレは屋外に1ヶ所、建物内に2ヶ所用意する。
- 会場にはテントサイトを設ける。譲り合って利用すること。なおフィニッシュレーンのすぐ脇にはテントを張らないこと。
- ウォーミングアップエリア内は荷物を置いたり、テントを張ったりすることはできない。

6.1.3 選手権予選

20～22 ページに示す 6.2 を参照すること。

6.1.4 選手権 A-Final

23～25 ページに示す 6.3 を参照すること。

6.1.5 選手権 B-Final

25～27 ページに示す 6.4 を参照すること。

6.1.6 一般の部

27～29 ページに示す 6.5 を参照すること。

6.1.7 弁当配布 (10:30～12:30)

- 配布の放送がかかり次第、各校の代表者が代表者カード持参の上、弁当を取りに来ること。
- 弁当のゴミは学校ごとにまとめて受付にて回収する。

6.1.8 表彰式 (14:50～)

- 表彰式は 14:50 頃より会場にて行う。詳細は放送によって案内する。
- 選手権の部は A-Final の男女各 1 位を 2004 年度ミドル・ディスタンス競技部門選手権者とする。また、A-Final 男女上位 6 名を入賞者として表彰する。また A-Final に進出した今年度学連初年度登録者の中で最も成績の良かった選手男女各 1 名を特別表彰する。
- 一般の部は各クラス上位 3 名を入賞者として表彰する。過年度生は表彰対象外とするが上位 3 位以内のタイムの場合は特別表彰を行う。
- 表彰式は一般の部、選手権の部の順に行う。
- 表彰対象者は放送で招集するので指示された場所に速やかに集まること。
- 会場内において花束販売を行う予定である。

6.1.9 リレーオーダー用紙提出 (15:00～16:00)

- 各校の代表者は翌日のリレー競技部門のオーダー用紙を提出すること。
- 前日に大会受付で配布したリレーオーダー用紙のうち、「リレー直前変更届」を除く全ての用紙を使用、未使用に関わらずに提出すること。
- リレーの各クラスにおいて、エントリーしたチーム数を越えて自校内でチームを組むことはできない。
- 一般の部において複数の学校で構成されるチームを組む場合は「混成チーム編成届」をいずれかの大学が提出すること。混成チームのナンバーカードは 12 日のインフォメーションデスクまたは 13 日の受付で配布する。
- 全員分に該当するリレーオーダー用名前シールを、提出するいずれかの用紙に貼ること。なお、シールにはすでに欠場届を受理された選手の名も含まれている。その場合は「スプリントレース申込用紙・欠場届」の該当する欄に貼ること。
- リレーでは、人数の揃わないチームは出場できない。チームを組めなくなった場合、そのチームの選手はスプリントクラスに出場するか、観戦となる。

6.1.10 代表者ミーティング (16:00～16:15)

- 代表者ミーティングは本部テント前で行う。
- 参加できるのは、チームオフィシャルを含めて各校 2 名までとする。チームオフィシャルは必ず ID カードを持参すること。
- 代表者ミーティングは以下の内容で行う。
 - 競技上の注意・諸連絡
 - 全員がリレーに出場しない大学の分の e card 回収
 - リレーで使われるコントロール位置説明の一覧表の配布

6.1.11 会場から選手村への移動

- 以下の時刻に選手村への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。
 - 13:30、14:00、14:30、15:00 以降は満車になり次第適宜発車
- 最終便の発車は代表者ミーティング終了の 15 分後（16:30）を予定している。

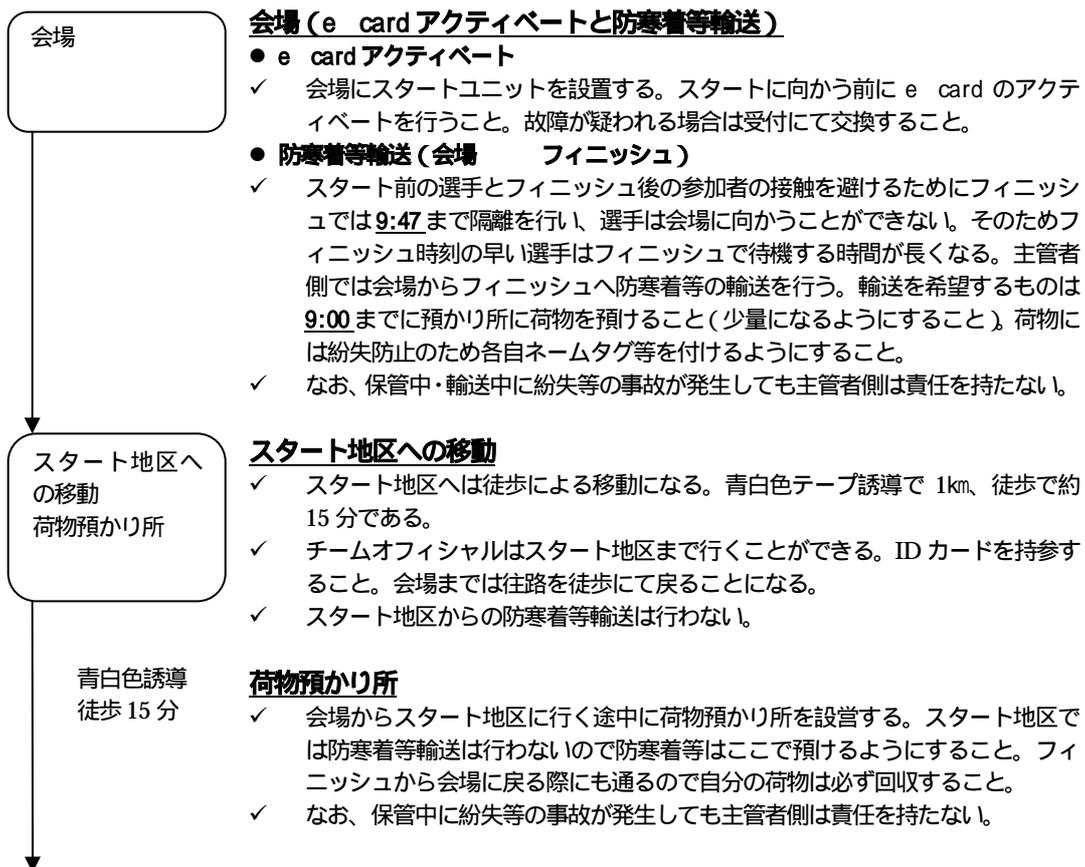
6.1.12 インフォメーションデスク（19:00～21:00）

- インフォメーションデスクは星の宿小西に設ける。トラブル・不慮の事故が発生した場合、直ちに連絡して指示を受けること。
- 選手権 A-Final 選手のラップ表およびリレー選手権の部のオーダー一覧を配布する。各校の代表者は開設時間内に取りに行くこと。
- 21:00 以降の緊急の場合は、役員携帯電話に連絡すること（090-3961-8730 武政泰輔）。

6.2 選手権予選

予選について

- 予選ではレーン制を採用する。これは故意の追走を防ぐための措置である。
- 男子の場合、MEQ1、MEQ2、MEQ3、MEQ4 の 4 つのレーンに分けており、同一スタート時刻の者を乱数により MEQA、MEQB、MEQC、MEQD の 4 つのコースに割り振る。
- 女子の場合、WEQ1、WEQ2 の 2 つのレーンに分けており、同一スタート時刻の者を乱数により WEQA、WEQB の 2 つのコースに割り振る。
- 同一スタート時刻の選手は全員違うコースを走ることになり、選手は地図を受け取るまで自分がどのコースに割り振られているのかわかることができない。このようなスタート方式のため、コントロール位置説明は事前に公表しない。
- リフトアップスタート・パンチングフィニッシュである。
- 選手の変更は認められない。



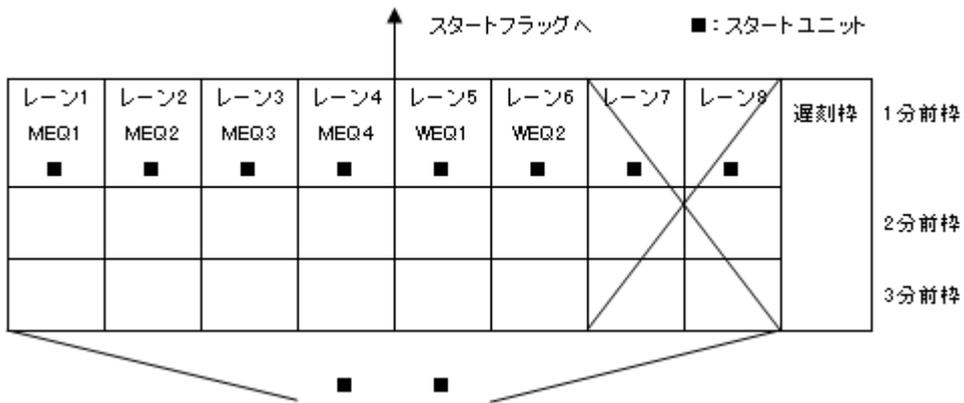
スタート
9:00~9:47

赤白色誘導

スタート
フラッグ

競技時間
60分

予選スタートレイアウト



● **遅刻者**

- ✓ 遅刻者は遅刻枠に直行し、役員に e card を提示すること。
- ✓ 地図を受け取ったら役員の指示に従ってスタートすること。
- ✓ 所要時間はスタートリストに記載されている時刻からスタートしたものと計算される。
- ✓ 他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合がある。
- ✓ 15分以上遅刻した場合は失格となる。
- ✓ 予選スタート閉鎖は 10:02 である。

最終
コントロール

赤白色誘導

スタート (9:00~9:47)

- ✓ e card とナンバーカードが無い選手はスタートできない。
- ✓ スタート地区の時計は現在時刻を示している。
- ✓ スタート枠に入る前に e card をスタートユニットにはめ込み、アクティベートを行うこと。
- ✓ スタート 3 分前になったら自分のスタートレーンに入ること。1 分ごとに枠をひとつずつ進むこと。
- ✓ スタート 1 分前になったら、役員に e card を提示し、e card をアクティベートさせ、地図のラベルのレーンと名前を確認すること。
- ✓ スタート 10 秒前になったら e card をスタートユニットにはめ込むこと。
- ✓ スタートの合図と同時に e card を離し、地図を受け取ってスタートし、スタートフラッグまで進むこと。計時はスタートの合図から行う。
- ✓ スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の () の中心にスタートフラッグがある。
- ✓ 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法で e card をフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として搜索される。

競技 (9:00~10:47)

- ✓ 競技時間は 60 分である。これを超えると失格となる。速やかにフィニッシュに向かうこと。

フィニッシュ
9:00 ~ 10:47

フィニッシュ (9:00~10:47)

- ✓ 会場とは別の場所にフィニッシュを設営する。
- ✓ 最終コントロールから赤白色テープ誘導に従って進むこと。
- ✓ パンチングフィニッシュとする。パンチングフィニッシュ用ユニットに e card をはめ込むこと。
- ✓ e card は役員の指示に従って提出すること。失格判定を済ませ、問題のないものについてはその場で選手に返却する。e card を提出できない場合には失格となる。
- ✓ 失格の疑いのある e card は回収し、その後受付にて e card を返却する。
- ✓ バックアップラベルを紛失した場合、電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格にならない。
- ✓ フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。
- ✓ 予選フィニッシュ閉鎖は 10:47 である。
- ✓ スタート前参加者との接触を避けるために 9:47 まで会場に向かうことはできない。フィニッシュ地区で待機すること。
- ✓ 会場で預けた防寒着等をフィニッシュで返却するので、必ず持ち帰ること。
- ✓ チームオフィシャルはフィニッシュに行くことはできない。
- ✓ 荷物預かり所までは緑色テープ誘導、荷物預かり所から会場までは青白色テープ誘導である。フィニッシュから会場に戻る途中で荷物預かり所を通るので、スタート前に荷物を預けた選手は必ず荷物を持ち帰ること。
- ✓ 地図回収は行わない。一般の部も同範囲を使用するので他の参加者に地図を見せないようにすること。

成績発表
第 1 次
11:00 (予定)

成績発表

- ✓ 成績発表の結果、男子予選各コース上位 10 位までの選手、女子予選各コース上位 12 位までの選手が A-Final に出場できる。予選同コース内において同着により男子 10 名以上の選手が 10 位以内、女子 12 名以上の選手が 12 位以内に入った場合はその全員が A-Final に出場できる。
- ✓ A-Final のスタートリストは 11:00 (予定) までに第 1 次の発表を行う。この時点での成績及び A-Final スタート時刻は最終確定ではなく変更の可能性はある。
- ✓ A-Final のスタートリスト最終確定版の発表は調査依頼の処理が終了次第行う。発表は 11:47 以降となる。
- ✓ A-Final に進めなかった選手・失格となった選手・予選不出走の選手は B-Final に参加できる。

調査依頼

- ✓ 調査依頼はフィニッシュ後速やかに受付まで文書にて行うこと。調査依頼用紙は受付に用意する。
- ✓ 調査依頼の締め切りは 11:47 である。A-Final に出場できる可能性のある選手は早めに行うこと。

成績発表
最終確定
11:47 以降

6.3 選手権 A-Final

A-Final について

- 予選成績発表の結果、男子予選各コース上位 10 位までの選手、女子予選各コース上位 12 位までの選手が A-Final に出場できる。予選同コース内において同着により男子 10 名以上の選手が 10 位以内、女子 12 名以上の選手が 12 位以内に入った場合はその全員が A-Final に出場できる。A-Final 出場者は、以下の説明に従って A-Final に参加すること。
- A-Final において、e card は予選で使用したものをを使う。ただし紛失した場合は、受付にて予備を配布する。バックアップラベル、ナンバーカードは新しいものを使用する。予選のバックアップラベル、ナンバーカードをはずし新しいものに取り替えること。

受付
11:00 ~ 12:00

受付(11:00 ~ 12:00)

- ✓ A-Final のスタートリストは 11:00 (予定) までに第 1 次の発表を行う。11:00 発表時点での成績を元に、仮受付を開始する。この時点での成績および A-Final スタート時刻は最終確定ではなく、変更の可能性がある。
- ✓ A-Final のスタートリスト(最終確定)発表は、調査依頼の処理が終了次第行う。発表は 11:47 以降となる。仮受付時点から変更があった場合には、放送もしくはスタート待機所へのバスにて役員より指示する。
- ✓ A-Final 出場者は受付にて A-Final 用のナンバーカード、安全ピン、コントロール位置説明を受け取ること。
- ✓ 自分のスタート時刻とナンバーカード番号が正しいかどうか、公式掲示板の A-Final スタートリストで確認すること。
- ✓ A-Final を欠場する場合は、欠場する旨を受付で告げること。A-Final を欠場する選手がいた場合でも、予選不通過者からの補充は行わない。
- ✓ A-Final のスタートは予選通過順位下位の選手から行う。

スタート待機所
への移動

スタート待機所への移動

- ✓ スタート待機所まではバスによる移動となる。
- ✓ 発車時刻の 5 分前にはバストップに集合すること。
- ✓ スタート待機所へは A-Final 出場者およびチームオフィシャルのみが行くことができる。選手は e card およびナンバーカード、チームオフィシャルは ID カードを持参すること。e card およびナンバーカードを忘れると失格となる。
- ✓ バスのスタート待機所到着が到着限界時刻より遅れた場合、スタート時刻を遅らせるなどの対応をする場合があるので、役員の指示に従うこと。

バス移動
15 分

	会場	スタート待機所	スタート地区	スタート時刻目安	到着限界時刻
1	12:05	12:20	12:40	13:00 ~ 13:25	12:40
2	12:35	12:50	13:10	13:25 ~ 13:50	13:05
3	13:05	13:20	13:40	13:50 ~ 14:18	13:30

- ✓ チームオフィシャルがスタート待機所から会場へ戻るバスは下記の 3 本である。

14:00	14:30	15:00
-------	-------	-------

スタート待機所

スタート待機所

- ✓ トイレはスタート待機所にあるが、数が少ないためできるだけ会場で済ませること。
- ✓ スタート待機所付近にはウォーミングアップエリアがある。
- ✓ スタート待機所まで持参した荷物は役員も会場まで輸送するが、チームオフィシャルが輸送することが望ましい。輸送を希望する選手は大会受付にて配布されたビニール袋に入れ、ネームタグ等を付けてスタート待機所の指定の場所に預けること。預かった荷物は、会場行きのバスに載せて輸送される。
- ✓ 防寒着等の返却は会場にて行う。
- ✓ なお、保管中・輸送中に紛失等の事故が発生しても主管者側は責任を持たない。

スタート地区への移動

青白色誘導
徒歩 20分

スタート
13:00~14:18

赤白色誘導
60m

スタート
フラッグ

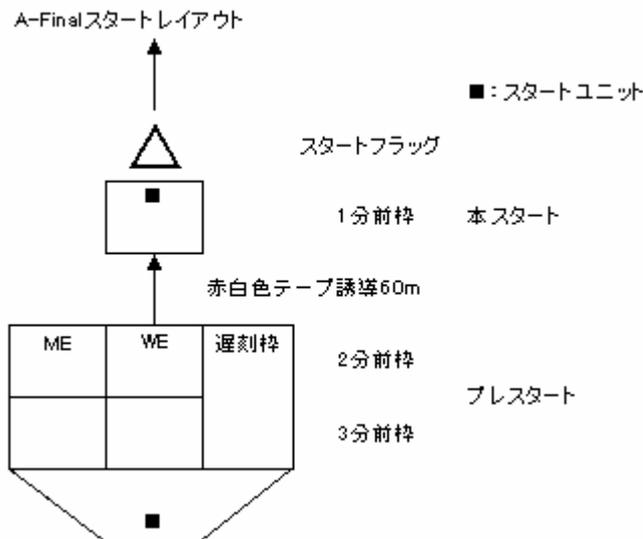
競技時間
60分

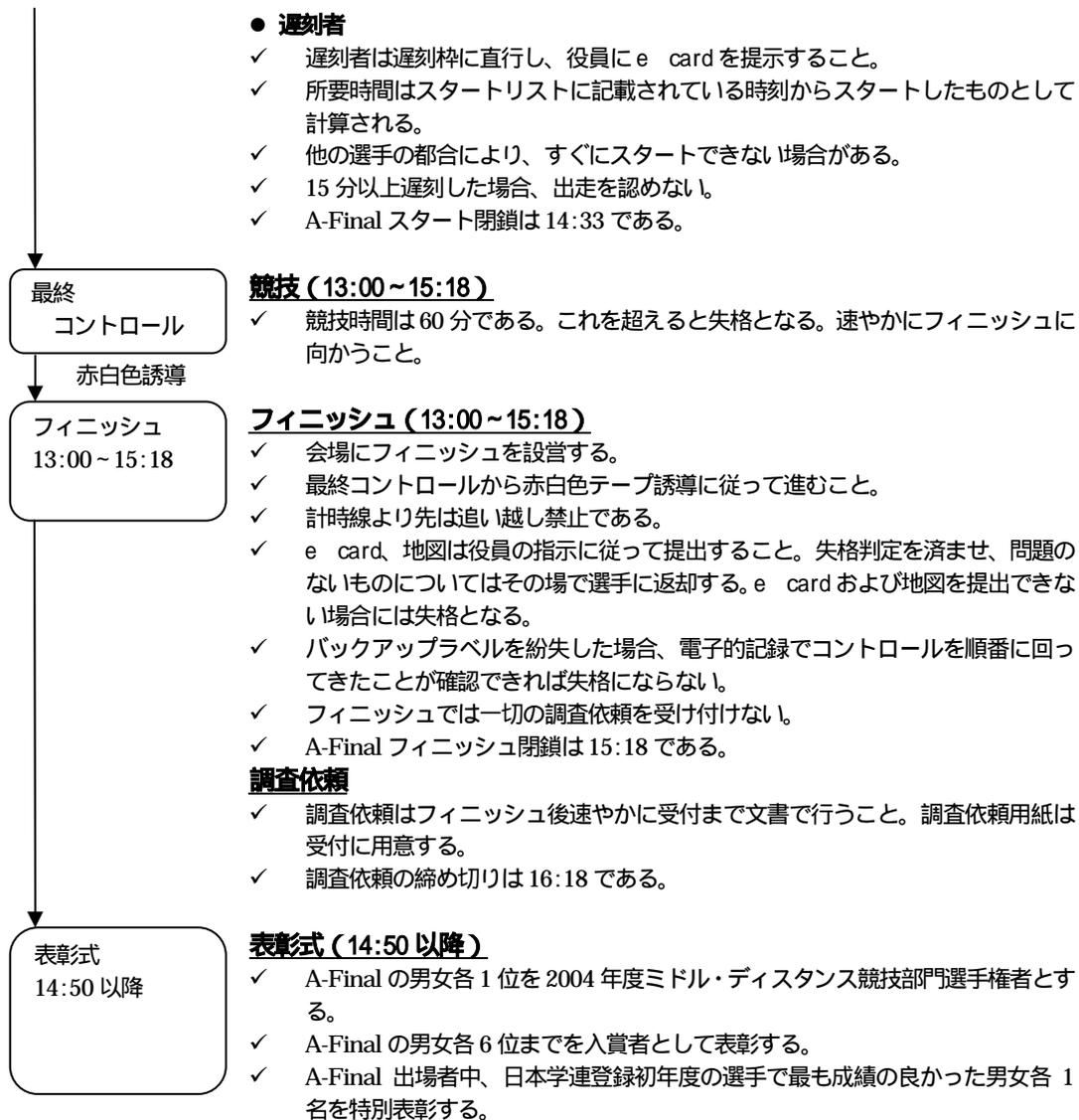
スタート地区への移動

- ✓ スタート地区までは徒歩による移動となる。(青白色テープ誘導徒歩 20分)
- ✓ チームオフィシャルはスタート地区まで行くことができる。IDカードを持参すること。待機所までは往路を徒歩にて戻ることになる。
- ✓ 選手はe cardおよびナンバーカードを持参すること。
- **防寒着等輸送**
- ✓ スタート地区まで持参した荷物は役員も会場まで輸送するが、チームオフィシャルが輸送することが望ましい。輸送を希望する選手は大会受付にて配布されたビニール袋に入れ、ネームタグ等を付けてスタート地区の指定の場所に預けること。預かった荷物は、会場行きのバスに載せて輸送される。
- ✓ 会場に荷物が戻ってくるのは15:00過ぎになる予定である。
- ✓ なお、保管中・輸送中に紛失等の事故が発生しても主管者側は責任を持たない。

スタート(13:00~14:18)

- ✓ A-Final スタートはプレスタート方式である。
- ✓ スタートは男女とも13:00より2分間隔で行う。
ME: 13:00~14:18 2分間隔でスタート
WE: 13:01~13:47 2分間隔でスタート
- ✓ e cardおよびナンバーカードが無い選手はスタートできない。
- ✓ プレスタート地区の時計は現在時刻を示している。
- ✓ スタート枠に入る前にe cardをスタートユニットにはめ込み、アクティベートを行うこと。
- ✓ スタート3分前になったら自分のスタートレーンに入ること。1分ごとに枠をひとつずつ進むこと。
- ✓ スタート2分前になったら、役員にe cardを提示し、確認を受けること。
- ✓ スタート1分前に本スタートへ移動すること。プレスタートから本スタートまでは赤白色テープ誘導に従って60mである。
- ✓ スタート10秒前になったらe cardをスタートユニットにはめ込むこと。
- ✓ スタートの合図と同時にe cardを離し、地図を受け取ってスタートし、スタートフラッグまで進むこと。計時はスタートの合図から行う。
- ✓ スタートフラッグは本スタートの目の前に設置してある。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。
- ✓ 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でe cardをフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として搜索される。





6.4 選手権 B-Final

B-Final について

- 男子予選各コース上位 10 位、女子予選各コース上位 12 位までに入れなかった選手は B-Final に出場できる。
- B-Final は予選レーンごと (同色のナンバーカードごと) にマススタート方式とする。コースは複数パターンあり、故意の追走の防止を図っている。各コースでの 1 位を優勝とする。このためコントロール位置説明は事前に公表しない。
- B-Final において、e card、ナンバーカードは予選で使用したものをを使う。ただし紛失した場合は、受付にて予備を配布する。バックアップラベルは新しいものを使用する。予選のバックアップラベルをはずし新しいものに取り替えること。
- パンチングフィニッシュである。
- 選手の変更は認められない。

会場

会場

● e-card アクティベート

- ✓ 会場にスタートユニットを設置する。スタートに向かう前に e card のアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は受付にて交換すること。

スタート地区への移動
荷物預かり所

スタート地区への移動

- ✓ スタート地区へは徒歩による移動になる。青白色テープ誘導で 1km、徒歩で約 15 分である。予選と共通である。
- ✓ スタートからの防寒着等輸送は行わない。

荷物預かり所

- ✓ 会場からスタート地区に行く途中に荷物預かり所を設営する。スタート地区では防寒着等輸送は行わないので防寒着等はここで預けるようにすること。フィニッシュから会場に戻る際にも通るので自分の荷物は必ず回収すること。
- ✓ なお、保管中に紛失等の事故が発生しても主管者側は責任を持たない。

スタート
12:00 ~ 12:30

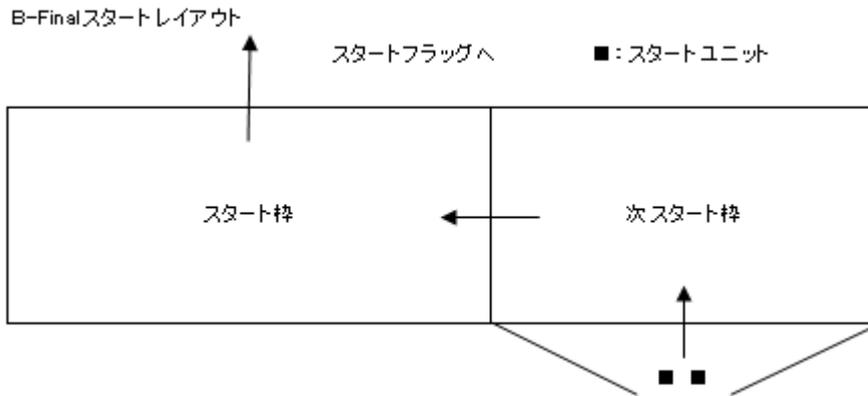
スタート(12:00~)

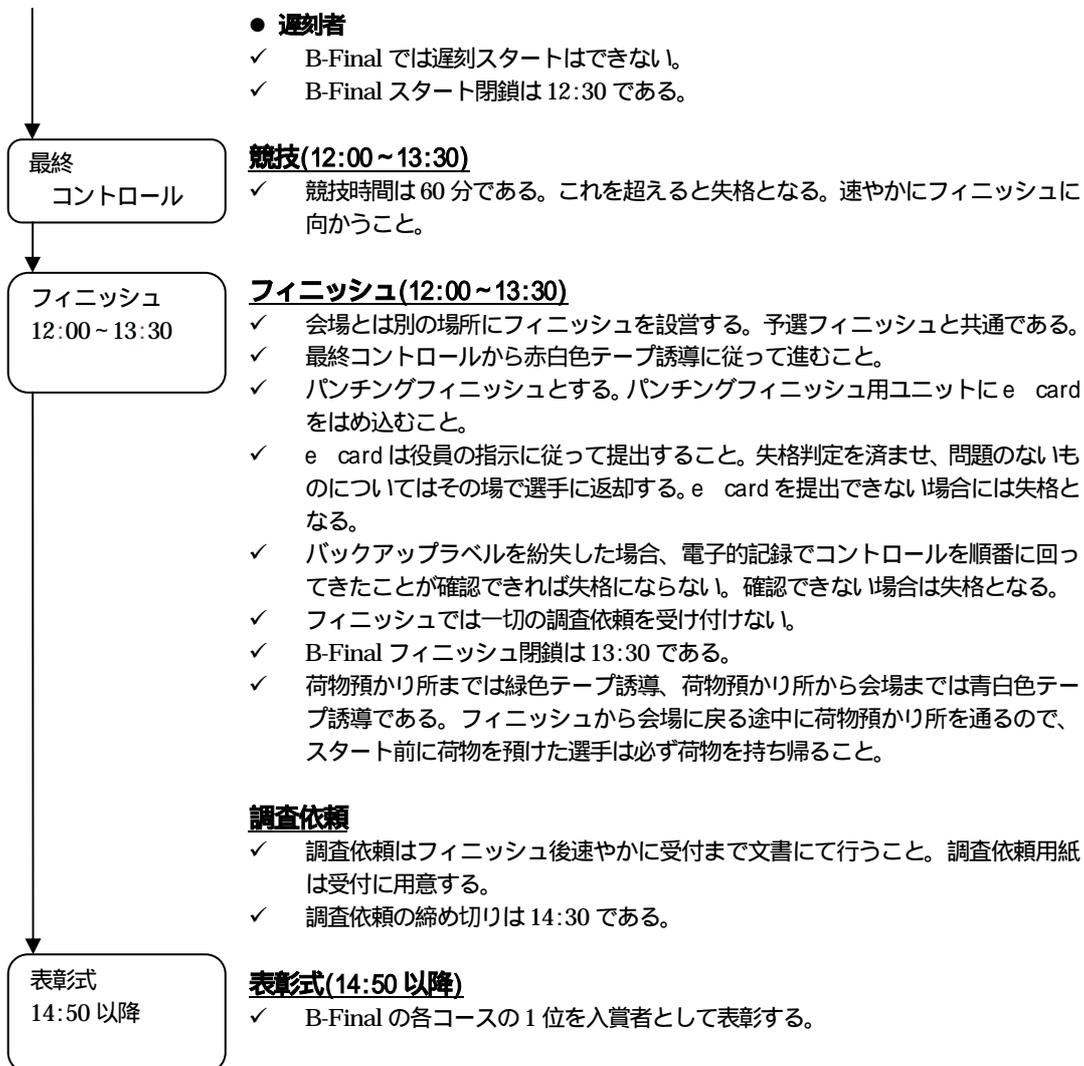
- ✓ e card とナンバーカードが無い選手はスタートできない。
- ✓ スタート地区の時計は現在時刻を示している。
- ✓ スタートは予選スタートレーンごとのマススタートである。
MEFB1: 12:00 WEFB1: 12:05
MEFB2: 12:10 WEFB2: 12:15
MEFB3: 12:20
MEFB4: 12:30
- ✓ スタート 10 分前までにスタート地区に集まること。
- ✓ 次スタート枠に入る前に、e card をスタートユニットにはめ込みアクティベートを行うこと。
- ✓ スタート 10 分前になったら次スタート枠に移動し、役員の指示に従い速やかに整列すること。整列次第、役員が選手確認を行う。
- ✓ スタート 5 分前になったらスタート枠に移動すること。役員が地図を配布する。ラベルのレーンと氏名を確認すること。スタートまで地図は見ないこと。
- ✓ スタートの合図と同時にスタートすること。
- ✓ スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の () の中心にスタートフラッグがある。
- ✓ 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法で e card をフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として搜索される。

赤白色誘導

スタート
フラッグ

競技時間
60 分

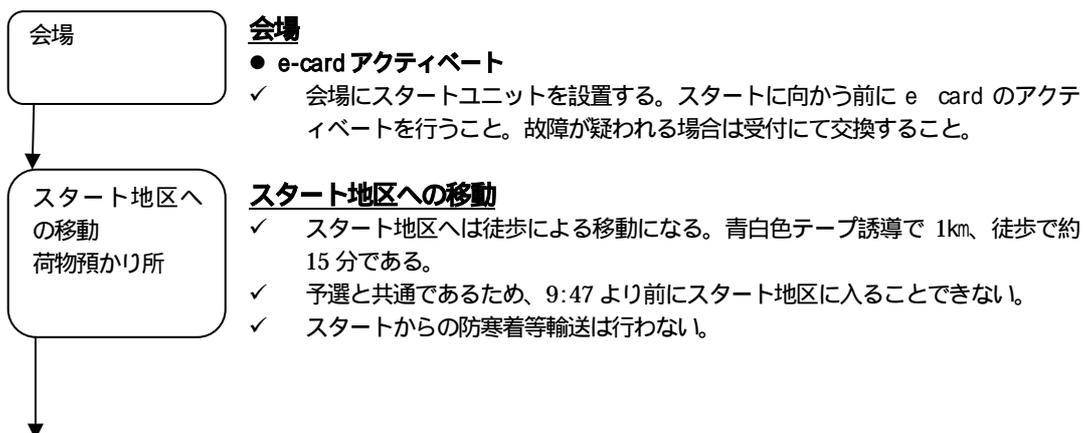




6.5 一般の部

一般の部について

- コントロール位置説明は事前に公表しない。
- リフトアップスタート・パンチングフィニッシュである。
- 選手の変更は認められない。



荷物預かり所

- ✓ 会場からスタート地区に行く途中に荷物預かり所を設営する。スタート地区では防寒着等輸送は行わないので防寒着等はここで預けるようにすること。フィニッシュから会場に戻る際にも通るので自分の荷物は必ず回収すること。
- ✓ なお、保管中に紛失等の事故が発生しても主管者側は責任を持たない。

スタート
10:00 ~ 11:19

赤白色誘導

スタート(10:00~11:19)

- ✓ e cardが無い選手はスタートできない。
- ✓ スタート地区の時計は現在時刻を示している。
- ✓ スタート枠に入る前に役員にe cardを提示し、e cardをスタートユニットにはめ込みアクティベートを行うこと。
- ✓ スタート3分前になったら自分のスタートレーンに入ること。1分ごとに枠をひとつずつ進むこと。
- ✓ スタート1分前になったらe cardをアクティベートさせること。
- ✓ スタート10秒前になったらe cardをスタートユニットにはめ込むこと。
- ✓ スタートの合図と同時にe cardを離し、地図を受け取ってスタートし、スタートフラッグまで進むこと。計時はスタートの合図から行う。
- ✓ スタートフラッグまでは赤白色テープ誘導である。地図上の()の中心にスタートフラッグがある。
- ✓ 一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でe cardをフィニッシュに提出すること。提出がない場合は未帰還者として搜索される。

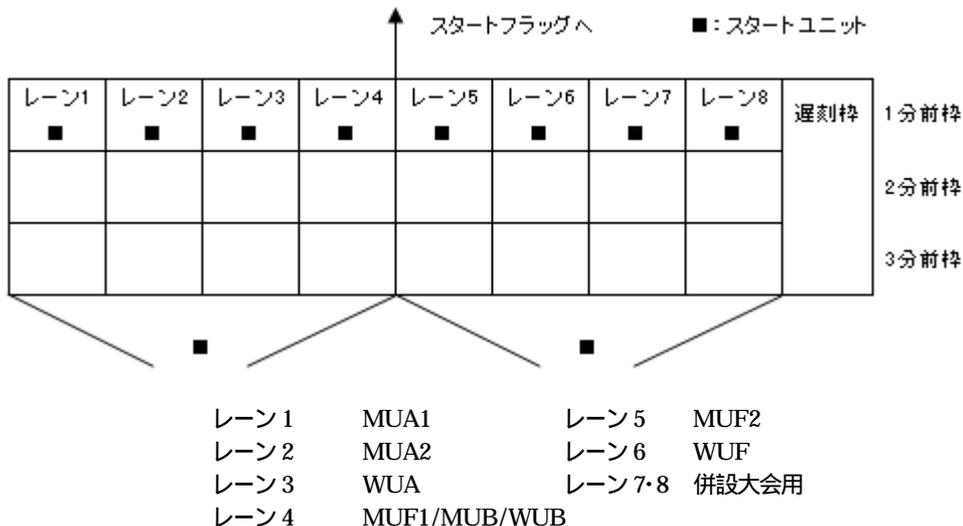
スタート
フラッグ

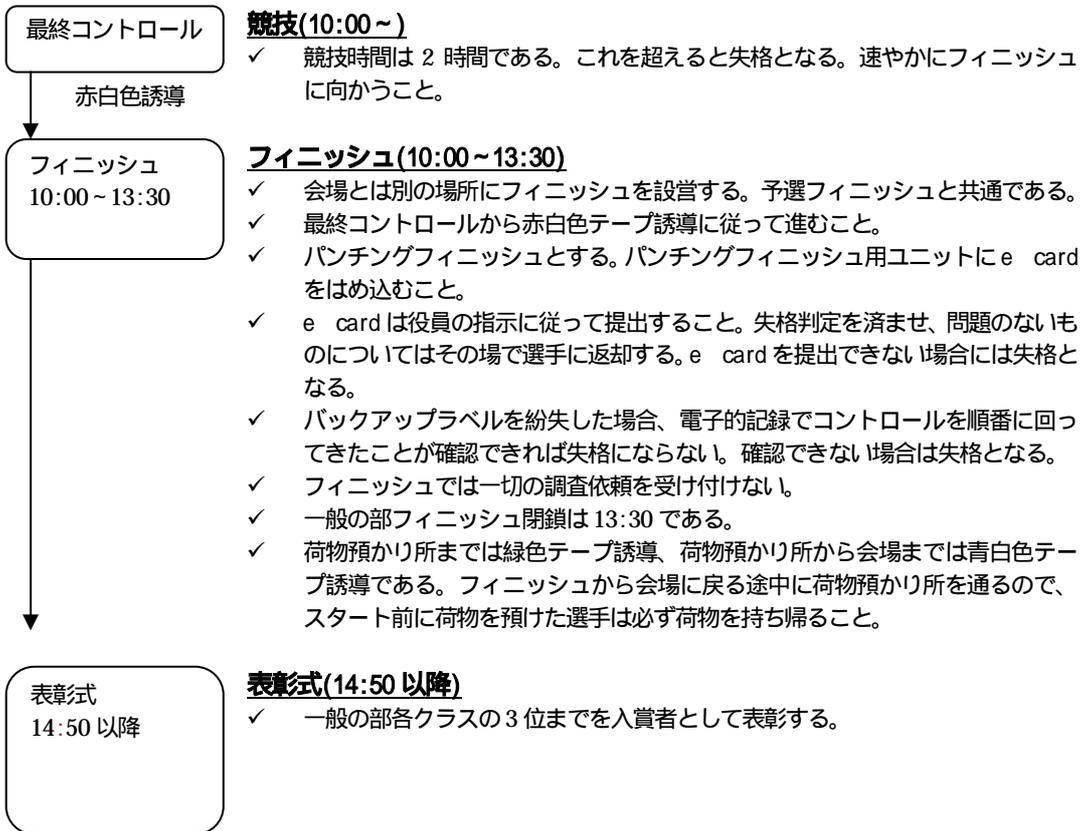
競技時間
2時間

● 遅刻者

- ✓ 遅刻者は遅刻枠に直行し、役員にe cardを提示すること。
- ✓ 地図を受け取ったら役員の指示に従ってスタートすること。
- ✓ 所要時間はスタートリストに記載されている時刻からスタートしたものとして計算される。
- ✓ 他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合がある。
- ✓ 15分以上遅刻した場合、スタート閉鎖時刻まで出走は可能であるが失格となる。
- ✓ 一般の部スタート閉鎖は11:34である。

一般の部 スタートレイアウト





インカレ報告書の広告募集！

報告書に、あなたのクラブや大会などの広告を載せてみませんか？どしどしお申し込みください。

	1 コマ(1/8 ページ)	2 コマ(1/4 ページ)	4 コマ(1/2 ページ)	8 コマ(1 ページ)
営利団体	4,000 円	7,000 円	10,000 円	20,000 円
非営利団体	2,000 円	3,500 円	5,000 円	10,000 円

裏表紙、表紙見返し、裏表紙見返しを希望される方は、問い合わせ先までご相談ください。

1 ページ = B5

- ・原稿送付先: 〒195-0057 東京都町田市真光寺 1-6-10 山根 洋之
- ・問い合わせ: E-mail(推奨) yamaneh@m3.ocv.ne.jp
携帯電話 090-2499-3073
- ・振込先: 口座番号: 00250-0-112826
加入者名: 中谷 彰吾

(お振込の上、原稿とともに「振込日」、「振込人名」、「振込額」を明記(フリーフォーマット)した別紙を同封して送付先にお送りください)

- ・原稿締め切り: 2005 年 3 月 31 日必着

7. リレー競技 [3 / 13(日)]

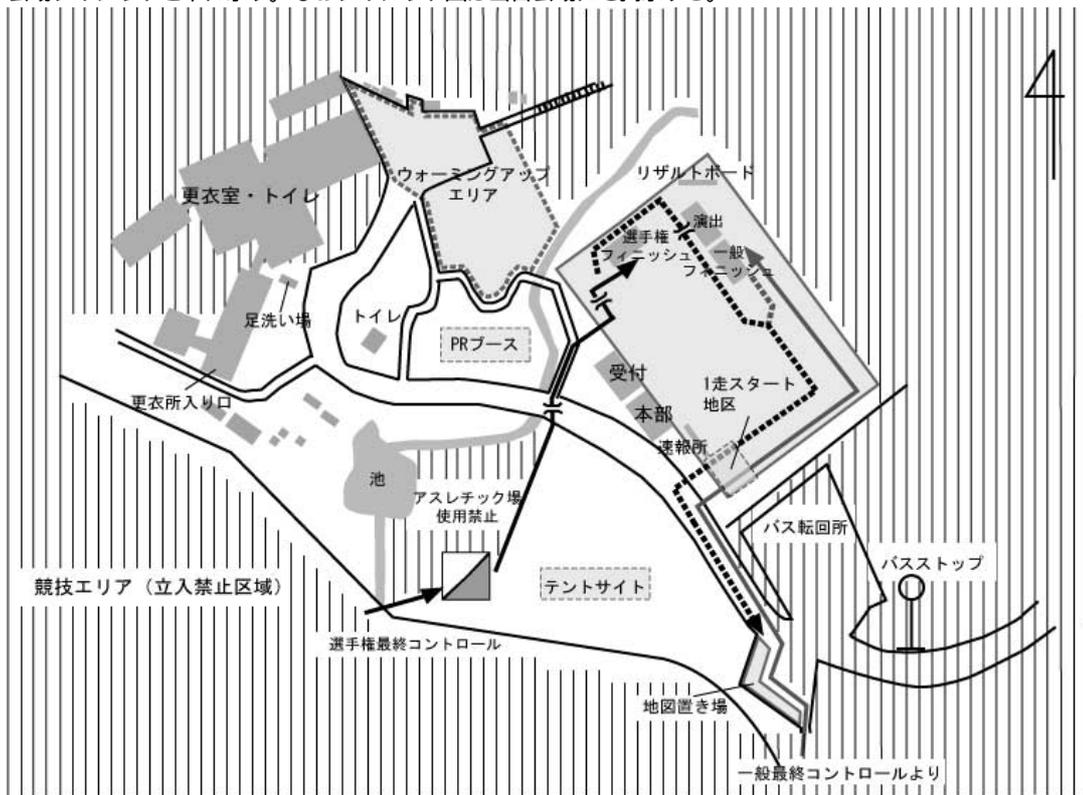
7.1 競技情報

7.1.1 選手村から会場への移動

- 全員、選手村バスストップから競技会場まで専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図(8~9ページ)を参照のこと。
- バスは6:30~8:00に順次発車する。7:00までは一走の選手を優先とする。
- 競技会場バスストップまでのバス所要時間は30分程度である。
- 各宿舍とも、出発前にチェックアウトを行うこと。なお、荷物は夕方まで宿舍に置くことができる。会場には十分なスペースがないため、駅周辺の宿に宿泊した者、リレー終了後に日光市街で宿泊を予定している者はできる限り宿に荷物を預けてくること。置き場所については宿舍の指示に従うこと。荷物を置く場合は、貴重品は宿舍に残さないこと。

7.1.2 会場レイアウト

会場レイアウトを下に示す。なおレイアウト図は当日会場にも掲示する。



- 女子更衣室は建物内に用意される。ただし女子更衣室内に荷物を置くことはできない。
- トイレは屋外に1ヶ所、建物内に2ヶ所用意する。
- 会場にはテントサイトを設ける。譲り合って利用すること。なおフィニッシュレーンのすぐ脇にはテントを張らないこと。
- ウォーミングアップエリア内は荷物を置いたり、テントを張ったりすることはできない。
- 地図置き場については、確認する時間を設ける。

7.1.3 選手変更および、欠場者最終受付(8:00~8:45)

- オーダー用紙提出後、出場予定選手が出場できなくなった場合に、大会受付に「リレー直前変更届」を提出することにより、選手変更および欠場を申告することができる。
 - 選手権の部
 - ✓ 選手権の部では、病気・怪我により出場予定選手が出場できなくなった場合は、各クラス

- スタートの1時間前までに「リレー直前変更届」を提出し（MEでは8:30まで、WEでは8:45まで）かつ裁定委員会の手承が得られたときに限り選手変更を受け付ける。
- ✓ 選手権の部へ選手を補充したことにより一般の部のチームに欠員が出ても、スプリント競技出場者からの選手補充は認めない。
 - 一般の部
 - ✓ 一般の部については欠場のみ受け付ける。選手変更は認めない。
 - ✓ 欠員が出たチームはリレーへの出走ができない。残りの走者はスプリント競技に出場するか、もしくは観戦となる。なお、この場合も「リレー直前変更届」を提出すること。

7.1.4 デモンストレーション（9:00～9:10）

- 競技会場で、デモンストレーション（競技説明）を行う。前走者の来る方向、レーンの位置、チェンジオーバーの方法、次走者の走る方向などが確認できる。

7.1.5 競技に関する全般的注意事項

- 競技時間

選手権の部	: ME	5時間	WE	5時間
一般の部	: リレー	4時間30分	スプリント	2時間

 上記の時間を越えたチーム・選手は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻

選手権の部	14:45	一般の部	14:35
-------	-------	------	-------

 競技途中であっても、上記時刻までにはフィニッシュを通過すること。
- 競技を途中棄権する場合であっても、必ずフィニッシュに地図を提出すること。これが不可能な場合は、最寄の役員に届けること。
- e card、ナンバーカードの無い者、およびリレー1走においてスタート時刻に遅刻した者は出走できない。
- e cardの紛失は失格となることがある。失格の場合、e card再発行により出走は可能であるが参考記録となる。再発行場所は受付となる。
- フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けない。受付に申し出ること。
- リスタートになったチームの記録は参考記録となる。

7.1.6 弁当配布（10:30～12:30）

- 配布の放送がかかり次第、各校の代表者が代表者カード持参の上、弁当を取りに来ること。
- 弁当のゴミは学校ごとにまとめて受付にて回収する。

7.1.7 地図返却（13:00～）

全クラスのリスタート終了後、ウォーミングアップエリアにおいてミドル、リレーの地図を返却する。詳細は放送で指示する。

7.1.8 地図販売および配布（13:00～）

受付にて地図販売およびチームオフィシャル、日本学連賛助会員への地図配布を行う。

- 地図販売
 - 全クラスリスタート終了後、ミドルとリレーの地図販売を行う。
- チームオフィシャル用・賛助会員用地図配布
 - チームオフィシャルに地図（全コントロール図、白図、ME及びWEのコース図）を配布する。IDカードを持参すること。
 - 日本学連賛助会員には、希望のコース図をミドル・リレー各1枚無料で配布する予定である。なお、枚数に限りがあるので、希望に沿えない場合がある。

7.1.9 備品返却

- すべての選手が帰還した学校はe card、安全ピンを各校でまとめて受付に返却すること。e cardは水できれいに洗浄すること。

7.1.10 表彰式 (13:30～)

- 表彰式は13:30頃より会場にて行う。詳細は放送によって指示する。
- 選手権の部は上位6チームを表彰する。
- 一般の部(MUR、WUR、XUR)は上位3チームを表彰する。なお、一般の部のリレー各クラスにおいて、今年度学連初年度登録者のみで構成されたチームのうち最も成績の良かったチームを特別に表彰する。(表彰対象者については要項2も併せて参照のこと)
- 表彰式は前日のトレイル-Oの表彰の後、スプリント、リレー一般の部、選手権の部の順に行う。
- 一般の部(MUS、WUS)は男女上位各1名をそれぞれ表彰する。
- 表彰対象者は放送で招集するので指示された場所に速やかに集まること。
- 会場内において花束販売を行う予定である。

7.1.11 閉会式 (14:30～)

- 表彰式に引き続き閉会式を行う。
- 閉会式は以下の内容を予定している。
 - 総評
 - 2004年度実行委員長挨拶
 - インカレ旗引継ぎ
 - 2005年度実行委員長挨拶
 - 閉会宣言

7.1.12 会場からの帰路

- 13:30頃から16:00にかけてバスストップから順次選手村(日光駅を含む)への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。
- インカレ後夜祭、講習会に参加するものは、選手村への専用バスへ乗車し選手村へ移動した後、各自でインカレ後夜祭、講習会会場へ移動すること。インカレ後夜祭、講習会会場は選手村付近を予定している。

7.2 リレー競技(選手権の部)

7.2.1 1走スタート

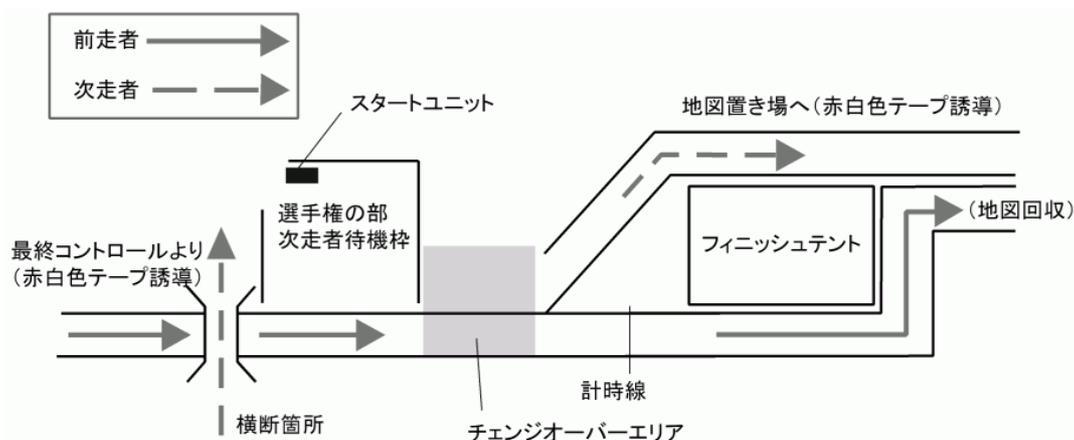
- 1走スタート時刻
ME 9:30 WE 9:45
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に1走スタート地区に集合すること。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ(地図上の)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.2.2 チェンジオーバー

- 前走者がフィニッシュのおよそ5分前の地点を通過した際、ナンバーカード番号を「前走者接近情報板」に掲示する。掲示が遅れる場合もあるが、インカレ実施規則25.10に規定する次走者への告知はこれに依るものとする。
- 選手権の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。e cardのアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は近くの役員に申し出てe cardの再発行を受けること。
- チェンジオーバーは前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合はそのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに前に進み、役員にその旨伝えること。その後役員に地図を提出し、指示に従って次走者を待つこと。チェンジオーバーを行うまで計時線を通過できない。

- チェンジオーバー後、次走者は赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取る。地図置き場までの誘導は、途中で一般の部の誘導と合流するので注意すること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。
- 地図を取った後は更に赤白色テープ誘導に従い、スタートフラッグ（地図上の ）を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

<リレー選手権の部 スタート/フィニッシュ地区レイアウト>



7.2.3 フィニッシュ

- 最終コントロールからは赤白色テープ誘導に従ってレーンに入り、計時線を通過する。
- 計時線を通過した後は追い越し禁止である。役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時（13:00）までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14:45である。
- 調査依頼はフィニッシュ後速やかに受付まで文書にて行うこと。調査依頼用紙は受付に用意する。
- 調査依頼の締め切りは15:45である。

7.2.4 リスタート

- リスタート時刻はME、WE共に12:50を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する可能性があるため放送には注意すること。
- リスタート時刻の10分前までに、チェンジオーバーできなかつたすべての選手は、選手権の部次走者待機枠に集合すること。
- 次走者待機枠集合後も、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。リスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取る。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。

7.2.5 失格

- 失格は、当該校と裁定委員会によって確認され次第、公式掲示板に掲示する。
- 失格チームは、その後のチェンジオーバーを禁止する。
- 失格チームの未出走者はリスタート時に出走できる。

7.2.6 ウィングラン

- 選手権の部において優勝が確定的な学校のみ、ウィングラン（同チームの選手による最終走者の伴

走)を行うことができる。希望する場合は、大会受付に申し出て許可を得ること。ただし、競技状況によっては許可しない場合もある。

- 役員の指示に従ってウィニングランを行うこと。

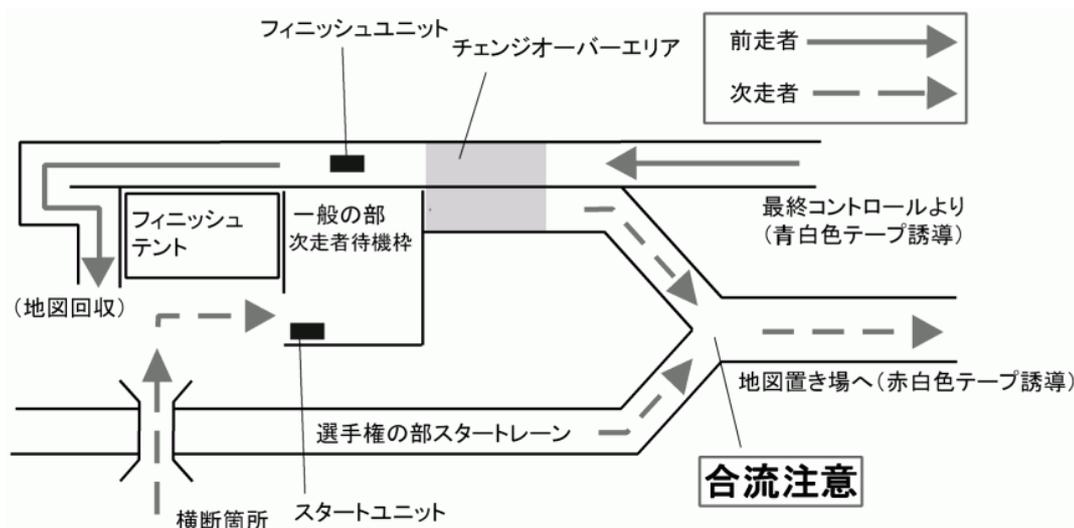
7.3 リレー競技(一般の部)

7.3.1 1走スタート

- 1走スタート時刻
MUR 9:55 WUR/XUR 10:05
- 1走の選手はスタート時刻の10分前に1走スタート地区に集合すること。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ(地図上の)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.3.2 チェンジオーバー

<リレー一般の部/スプリント競技 スタート/フィニッシュ地区レイアウト>



- 前走者がフィニッシュのおよそ2分前の地点を通過した際、ナンバーカード番号を「前走者接近情報板」に掲示する。主管者は、この掲示に不備があっても責任を負わない。次走者は前走者の帰還時刻を予想して準備をすること。また、前走者の姿が会場内に見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は30秒程と予想される。
- 一般の部次走者待機枠入口にスタートユニットを設置する。e cardのアクティベートを行うこと。故障が疑われる場合は近くの役員に申し出てe cardの再発行を受けること。
- チェンジオーバーは前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合はそのチームは失格とする。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに進み、役員にその旨伝えること。その後役員に地図を提出し、指示に従って次走者待機枠にて次走者を待つこと。チェンジオーバーするまではフィニッシュできない。
- チェンジオーバー後、次走者は赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取る。地図置き場までの誘導は、途中で選手権の部の誘導と合流するので注意すること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。

- 地図を取った後は更に赤白色テープ誘導に従い、スタートフラッグ(地図上の)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.3.3 フィニッシュ

- 最終コントロールからは青白色テープ誘導に従って、フィニッシュレーンに入る。
- フィニッシュはパンチングフィニッシュとなる。
- パンチングフィニッシュした後は追い越し禁止である。役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時(13:00)までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。
- フィニッシュ閉鎖時刻は14:35である。

7.3.4 リスタート

- リスタート時刻はMUR、WUR、XUR共に13:00を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合があるので放送には注意すること。
- リスタート時刻の10分前までに、チェンジオーバーできなかったすべての選手は一般の部次走者待機枠に集合すること。
- 次走者待機枠集合後、リスタート時刻まではチェンジオーバーが可能である。リスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って地図置き場に行き、自分のナンバーカード番号が記載されている地図を取ること。
- 他の選手の地図を取った場合は失格となる。
- 自分の地図が無い場合は地図置き場の役員に申し出ること。

7.3.5 失格

- 失格は役員によって随時通知される。
- 失格チームのその後のチェンジオーバーは禁止しない。
- すでに失格とわかっている場合でもリスタート時刻までチェンジオーバーを行うこと。

7.4 スプリント競技

7.4.1 スタート

- スタート時刻
MUS/WUS 10:05
- スタート10分前に1走スタート地区に集合すること。
- 1走スタート地区では役員の指示に従って進み、整列すること。スタート前に地図は渡されるが、スタートまで中を見てはならない。
- スタートの合図はピストルで行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後、赤白色テープ誘導に従って進み、スタートフラッグ(地図上の)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

7.4.2 フィニッシュ

- 最終コントロールからは青白色テープ誘導に従ってフィニッシュレーンに入る。
- フィニッシュではパンチングフィニッシュとなる。
- パンチングフィニッシュ後は追い越し禁止である。役員の指示に従って地図を提出すること。全クラスのリスタート終了時(13:00)までは地図を回収する。地図を紛失した場合は失格とする。

8. 競技情報

8.1 地図

- 地図はミドル・リレー共に縮尺 1:10,000、等高線間隔 5m、走行可能度 4 段階表示で描かれている。地図表記は ISOM2000 に準拠している。
- 上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物がある。この規定に従って以下のように記号を定める。
 - 緑の : 独立樹
 - 黒の : 炭焼窯跡
 - 黒の× : ほこら・石碑・その他人工特徴物
- 表記に関してはモデルイベント地図の凡例を参照のこと。ミドル・リレーに使用する地図は凡例を省略している。
- 本大会で使用する地図は全てビニール袋に封入されている。

8.2 テレインの概要

テレインは、99 年度インカレクラシックの『日光霧降』で使われた範囲を中心とした地域である。標高約 400~500m に位置し、比較的なだらかな尾根と侵食された深い沢や急峻な斜面で構成されている。植生は手入れされた針葉樹林が広範囲を占めており、見通しや走行可能度は非常に良好である。また、全域にわたって道や小道、小径が発達しており、走行の障害となるような岩石地等も見られない。

8.3 テレインに関する情報

- 積雪が残っている可能性がある。各自で対策を立てること。
- 猿等の野生動物が出没することがある。注意すること。
- 凍結している可能性がある。注意すること。

8.4 コースに関する情報

8.4.1 コース設定者

高橋ひろみ（慶應義塾大学 02 年卒）、増田佑輔（筑波大学 02 年卒）

8.4.2 コース距離・登距離

コース距離（単位 km）・登距離（単位 m）は以下の表のとおりである。ただし、変更される場合がある。その場合は、公式掲示板にて掲示する。

<ミドル・ディスタンス競技部門>

コース	距離	登距離
MEQA	2.8	135
MEQB	2.6	140
MEQC	2.8	130
MEQD	2.8	125
WEQA	2.2	100
WEQB	2.1	95
MEFA	3.0	170
WEFA	2.5	140
MEFB1	2.6	130
MEFB2	2.6	125
MEFB3	2.7	130
MEFB4	2.7	130
WEFB1	1.8	80
WEFB2	1.8	80

コース	距離	登距離
MUA1	4.0	255
MUA2	4.3	245
WUA	3.2	180
MUB	2.1	70
WUB	2.1	70
MUF1	2.6	135
MUF2	2.6	140
WUF	2.2	105

コース	距離	登距離
ME	5.3-5.5	290-300
WE	3.6-3.7	190-200
MUR	3.4	
WUR	2.9	
XUR	2.9	
MUS	3.4	
WUS	2.9	

8.5 e cardについて

8.5.1 電子パンチングシステムの概要

- 本大会ではEMIT社製のEPT (Electronic Punching and Timing system) を使用する。
- 電子パンチングシステムではe card とスタートユニットと、コントロールユニットを用いる。
- e card をアクティベートし、正常に動作している場合にはスタートユニットに付いているランプが赤く点滅する。
- コントロールユニットは固有の番号をもっており、アクティベートしたe card をはめ込むことにより、この固有の番号をe card が読み取り、e card に記録される。
- これらの記録されたデータをフィニッシュ後に読み取り、失格判定を行う。
- e card は機械であるため途中で故障する可能性がある。故障しても失格判定を行えるように、e card にはバックアップラベルが付いている。
- バックアップラベルはコントロールユニットにきちんとはめ込んだ場合に、従来のコントロールカードと同様に穴が空くような構造となっている(ただし、穴は1点、位置によってどのコントロールが判別する)。

8.5.2 e card 使用上の注意点

- e card の加工、書き込みなどは認めない。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用してよい。
- アクティベートを行っていない場合、一切の電子的記印が記録されないため、スタートユニットでは各人でランプが「2回」点滅することを確認すること。ランプが点滅しない場合には役員に届け出ること。
- e card が適切に動作していなかった場合はバックアップラベルでコントロールの通過を確認するのでバックアップラベルも紛失しないように十分注意すること。
- e card の紛失・忘失は失格となることがある。
- e card の電子的記録によって正しくコントロールを回っていることが証明される限りにおいて、バックアップラベルを紛失しても失格とはしない。
- バックアップラベルにも記印を行うため、e card をコントロールユニットにきちんとはめ込むこと。
- スタートユニットにはめ込むと、以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないこと。

8.5.3 コントロールで間違っただけの記印をした場合の対処法

- 同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録される。パンチに不安がある場合は2回以上パンチしても問題は無い。
- 途中で間違っただけのコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認める。従って、間違っただけのコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行ってパンチすればよい。

【例1】 7 8 9 と行くべきところ、8 を飛ばして9 をパンチした場合
そのまま8に戻ってパンチをし、再び9をパンチする(7 9 8 9)。

【例2】 7の次に8に行くべきところを他のクラスのコントロールXでパンチした場合
そのまま8に行ってパンチする(7 X 8)

8.5.4 その他注意事項

- 競技運営の都合上、主管者から貸し出す e card 以外の使用は認めない。但し、モデルイベント中のみ個人所有の e card の使用を認める。
- 主管者が貸し出す e card には氏名が記入されたラベルが貼り付けられており、選手 1 人につき 1 枚ずつ貸し出される。
- ミドル・リレー両日とも同一の e card を使用する。e card を紛失もしくは破損した場合、弁償金(3,000 円程度)を徴収する。競技中の事故で破損した場合にはその限りではない。

8.6 ナンバーカード

- ナンバーカードは開会式当日の大会受付で配布する。選手権 A-Final のナンバーカードは予選終了後、選手権 A-Final 出場者に受付にて配布する。
- ナンバーカード 1 枚につき安全ピンを 4 個使用すること。
- ナンバーカードは胸の見やすい位置に水平に付けること。
- 選手権 A-Final とリレー選手権の部では選手 1 人に付き 2 枚使用するので、胸と背中の見やすい位置に水平に付けること。

8.7 公式掲示板

- 開会式会場及び本部テントの横に公式掲示板を設置する。
- 変更点、連絡など参加者に伝えるべき公式な情報はすべてこの掲示板を通して知らせる。必ず確認すること。

8.8 救護所

- ミドル・リレー共に、フィニッシュ付近に救護所を設ける。それ以外にテレイン内に救護所を設け、最低限の応急手当を受けることができる。各自で手当をした場合は支障がなければ競技を続けることができる。
- 競技中に怪我人を発見した場合は、救護所またはフィニッシュの役員に連絡すること。

8.9 調査依頼・提訴

8.9.1 調査依頼

- 各校は、競技者あるいは主管者の、ミドル・リレーともに選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。
- ミドル・リレー共に、受付にて調査依頼を受け付ける。
- 調査依頼用紙は受付に用意する。文書にて行うこと。
- 回答は、公式掲示板に掲示する。
- 成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後 60 分以内に行うこと。
- 調査依頼には主管者が回答する。調査依頼の回答に疑義がある場合のみ、提訴を受け付ける。

8.9.2 提訴

- 調査依頼に対する回答に疑義がある場合は提訴を行うことができる。提訴は裁定委員会に対して文書で行う。
- 提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものである。関係者に通知されるほか、大会報告書にて報告される。

8.10 テープ誘導色一覧

ミドル	
予選・一般の部・B-Final 会場 青白色 荷物預かり所 青白色 スタート 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ 緑色 荷物預かり所 青白色 会場	A-Final スタート待機所 青白色 スタート 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ

リレー	
選手権 スタート 赤白色 地図置き場 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 赤白色 フィニッシュ	一般の部・スプリント スタート 赤白色 地図置き場 赤白色 スタートフラッグ 最終コントロール 青白色 フィニッシュ

立ち入り禁止：青黄色

トレイル-O：黄色

インカレ報告書の広告募集！

報告書に、あなたのクラブや大会などの広告を載せてみませんか？どしどしお申し込みください。

	1コマ(1/8ページ)	2コマ(1/4ページ)	4コマ(1/2ページ)	8コマ(1ページ)
営利団体	4,000円	7,000円	10,000円	20,000円
非営利団体	2,000円	3,500円	5,000円	10,000円

裏表紙、表紙見返し、裏表紙見返しを希望される方は、問い合わせ先までご相談ください。

1ページ=B5

- ・原稿送付先： 〒195-0057 東京都町田市真光寺 1-6-10 山根 洋之
- ・問い合わせ： E-mail(推奨) yamaneh@m3.ocv.ne.jp
 携帯電話 090-2499-3073
- ・振込先： 口座番号： 00250-0-112826
 加入者名： 中谷 彰吾

(お振込の上、原稿とともに「振込日」、「振込人名」、「振込額」を明記(フリーフォーマット)した別紙を同封して送付先にお送りください)

- ・原稿締め切り：2005年3月31日必着

9. チームオフィシャルリスト

(60名)

大学	氏名	大学	氏名
岩手大学	熊谷 智之	実践女子大学	天野 啓
	信原 靖	東京農業大学	松岡 崇
東北大学	禅洲 拓	埼玉大学	鈴木 智人
	櫻本 信一郎	相模女子大学	小河原 玲
宮城学院女子大学	姫野 裕子		清宮 庸一郎
岩手県立大学	安保 寛明	東京工業大学	田中 淳一
金沢大学	小林 力		徳江 勇樹
	片山 裕典	東京女子大学	降旗 芳典
	南 朋江	日本女子大学	矢口 恭子
新潟大学	今福 和也		水野 真理
	樺沢 直行	津田塾大学	関戸 紀子
	小笠原 隆史	茨城大学	塙 利彦
慶應義塾大学	前田 直毅	東京都立大学	大塚 友一
	稲津 隆敏	静岡大学	内藤 愉孝
千葉大学	吉川 真太郎		長谷川 靖
	原 響子	名古屋大学	太田 雄一郎
筑波大学	小泉 成行	椋山女学園大学	安斎 秀樹
	佐々木 良宜		加賀 千晶
	櫻田 隆之	大阪大学	尾島 良
	高野 麻記子	大阪市立大学	上田 隆之
東京大学	宇田川 雅令	京都大学	間島 真嗣
	小熊 武彦		新宅 有太
東京農工大学	田所 真之		西尾 信寛
	大塚 弘樹		長谷川 裕
	皆川 美紀子	神戸大学	高橋 大輔
東京理科大学	青島 健太	京都女子大学	澤田 留己
早稲田大学	榎本 和弘	京都橘女子大学	横澤 夕香
図書館情報大学	脇野 昌太郎	奈良女子大学	小林 康浩
	大石 恭己	山口大学	山崎 貴幸
	岩澤 敏子		松村 小夜子

10. ミドル選手権の部 スタートリスト

【選手権予選 男子1レーン MEQ1】

No.	時刻	氏名	学校/年数
100	9:00	宮澤 直樹	東京農工2
101	9:01	茂木 莞彦	東京1
102	9:02	能勢 晃司	京都2
103	9:03	海老 成直	中央1
104	9:04	樽見 典明	名古屋3
105	9:05	真壁 浩之	大阪3
106	9:06	室田 知宏	京都2
107	9:07	多田 奨	新潟2
108	9:08	小柳 俊一郎	図書館情報4
109	9:09	鳥居 耕太郎	慶應義塾2
110	9:10	高田 英司	東北2
111	9:11	佐藤 崇雄	静岡3
112	9:12	大杉 祥二	筑波1
113	9:13	阪本 紘一	岩手4
114	9:14	佐藤 郷	筑波3
115	9:15	野田 秀俊	東京3
116	9:16	渡辺 裕己	東京2
117	9:17	菊池 武	東京3
118	9:18	鶴田 翔一	金沢3
119	9:19	阿部 敬寿	岩手2
120	9:20	清藤 祐三	国際基督教3
121	9:21	岡 英樹	東京工業3
122	9:22	平岡 雅芸	金沢3
123	9:23	井上 博人	東京農工4
124	9:24	青柳 健大	東北2
125	9:25	前田裕太	東京工業4
126	9:26	福田 大輔	東京4
127	9:27	丹羽 史尋	東京2
128	9:28	仲村 健一	京都3
129	9:29	今野 良介	早稲田2
130	9:30	西村 淳史	北海道4
131	9:31	上城 圭史	立命館2
132	9:32	大西康平	京都2
133	9:33	池 陽平	北海道3
134	9:34	土肥 雅人	金沢3
135	9:35	坪居 大介	東京工業4
136	9:36	鎌田 健太郎	新潟3
137	9:37	南茂 哲也	岩手4
138	9:38	後藤 俊介	千葉3
139	9:39	山下智之	東京農工4
140	9:40	藤沼 崇	新潟2
141	9:41	武藤 広晃	名古屋3
142	9:42	松室 隼人	金沢4
143	9:43	長澤 憲太郎	金沢4
144	9:44	仲田 貴幸	関西1
145	9:45	中川 英一	京都4
146	9:46	今井直樹	早稲田3
147	9:47	高瀬 悠太	東京工業2

Bファイナル 男子1レーンスタート時刻 12:00

【選手権予選 男子2レーン MEQ2】

No.	時刻	氏名	学校/年数
200	9:00	渡辺 悠介	東北2
201	9:01	櫻井 良亮	大阪市立4
202	9:02	細田 北斗	岩手3
203	9:03	土井 慶紀	早稲田4
204	9:04	八重樫 優一	千葉3
205	9:05	及川 弘文	岩手3
206	9:06	宮越 崇	早稲田2
207	9:07	真名垣 友樹	北海道2
208	9:08	高橋 良英	東京農工4
209	9:09	降旗 健	東京4
210	9:10	北崎 茂	東京工業3
211	9:11	登坂 祥大	慶應義塾2
212	9:12	分木 優	立命館2
213	9:13	東口 晴一	東京農業3
214	9:14	弾塚 康平	東京農工3
215	9:15	植山 大輔	京都4
216	9:16	竹内 誠史	東京4
217	9:17	鷹鷲 和邦	東京工業4
218	9:18	尾崎 高志	早稲田4
219	9:19	小鷲 宜也	早稲田3
220	9:20	足立 恭平	慶應義塾1
221	9:21	尾崎 健士	千葉2
222	9:22	熊野 匠人	東京4
223	9:23	宮井 一帆	図書館情報4
224	9:24	八神 遥介	東北2
225	9:25	村上 堯	神戸3
226	9:26	加登屋 毅	早稲田4
227	9:27	西田 剛志	東京3
228	9:28	湯沢 友豪	東北2
229	9:29	山田 貴洋	金沢2
230	9:30	舟根 大輔	茨城2
231	9:31	後藤 陽一	東北2
232	9:32	坂本貴史	筑波4
233	9:33	大塚 紘史	千葉3
234	9:34	森田 健介	山口2
235	9:35	浜崎 嘉久	静岡2
236	9:36	櫻木 伸也	静岡3
237	9:37	鈴木 圭祐	茨城2
238	9:38	羽賀 岳尋	東京工業2
239	9:39	三宅文彦	名古屋4
240	9:40	香川 讓徳	東京農工3
241	9:41	青山 弘毅	筑波1
242	9:42	小田村 航	静岡4
243	9:43	古澤 徹	東京2
244	9:44	山口 拓也	北海道2
245	9:45	山口 卓也	岩手4
246	9:46	高橋雄哉	図書館情報3
247	9:47	高田 智実	京都3

Bファイナル 男子2レーンスタート時刻 12:10

【選手権予選 男子3レーン MEQ3】

No.	時刻	氏名	学校/年数
300	9:00	古山 泰也	東京2
301	9:01	谷 直樹	龍谷2
302	9:02	牧山 知彦	東京4
303	9:03	松本 大輔	東京都立4
304	9:04	谷宮 寛	一橋2
305	9:05	長沼 佑樹	京都4
306	9:06	湯山 永久	筑波2
307	9:07	小山 温史	東京工業1
308	9:08	成田 充	図書館情報4
309	9:09	松井 弘毅	東京工業2
310	9:10	安田 太郎	埼玉4
311	9:11	小林 隆昭	千葉3
312	9:12	水野 崇行	千葉3
313	9:13	山越 順平	金沢4
314	9:14	岩城 徹	東北2
315	9:15	真壁 啓司	慶應義塾2
316	9:16	栗城 吾央	岩手県立1
317	9:17	近藤 壮	東北4
318	9:18	厚主 敏治	図書館情報3
319	9:19	関谷 茂樹	東北3
320	9:20	落合 剛	埼玉2
321	9:21	深井 太志	千葉4
322	9:22	馬場 政志	大阪3
323	9:23	村上 憲一	神戸4
324	9:24	金枝 敏克	神戸4
325	9:25	鶴井 達也	名古屋3
326	9:26	高橋 元気	東北3
327	9:27	永井 亮	東北2
328	9:28	藤本 裕介	新潟2
329	9:29	大井 恵介	東北2
330	9:30	中井 隆史	京都4
331	9:31	土田 智宏	新潟2
332	9:32	後藤大輔	東北3
333	9:33	吉野 信	京都2
334	9:34	佐藤 嶺太	立命館4
335	9:35	渡辺 雅敏	静岡3
336	9:36	保前 保	千葉3
337	9:37	光谷 友樹	東北2
338	9:38	北村 伸介	東京工業3
339	9:39	川上崇史	慶応4
340	9:40	上野 光	東北1
341	9:41	古川 健二	千葉4
342	9:42	西山 洋生	静岡3
343	9:43	川名 聡	横浜国立1
344	9:44	金子 允	東京農業4
345	9:45	長瀬 裕樹	東京2
346	9:46	鈴立裕樹	東北3
347	9:47	久保田 芳弘	東京工業4

【選手権予選 男子4レーン MEQ4】

No.	時刻	氏名	学校/年数
400	9:00	小松田 成幸	岩手2
401	9:01	水石 和秀	大阪市立3
402	9:02	高橋 徹	福島2
403	9:03	安形 俊太郎	京都4
404	9:04	西澤 宏篤	慶應義塾1
405	9:05	村上 諒一	東京工業3
406	9:06	松井 弘之	東京3
407	9:07	荒川 深	東京2
408	9:08	太田 恒平	東京2
409	9:09	木村 洋介	大阪4
410	9:10	前田 青	東京3
411	9:11	石母田 篤	茨城3
412	9:12	吉田 建典	金沢4
413	9:13	益本 宇一郎	東京4
414	9:14	田村 陽祐	筑波3
415	9:15	寺嶋 健太	新潟4
416	9:16	古川 康之	大阪3
417	9:17	山崎 啓吾	東京工業1
418	9:18	菊地 貴志	東京農工4
419	9:19	一戸 康成	東北4
420	9:20	北村 亮	金沢4
421	9:21	川嶋 宗一郎	北海道3
422	9:22	野口 和範	東京4
423	9:23	福味 亮仲	静岡2
424	9:24	齋藤 祐也	東北2
425	9:25	橋本俊壮	京都4
426	9:26	佐藤 充洋	新潟4
427	9:27	田村 潔	新潟4
428	9:28	河村 正和	名古屋2
429	9:29	石井 大生	東京都立3
430	9:30	天谷 翔吾	金沢4
431	9:31	山田 祐嗣	名古屋3
432	9:32	山崎貴彦	東京2
433	9:33	宮川 純一	筑波3
434	9:34	岩井 稔	早稲田3
435	9:35	多田野 清人	筑波4
436	9:36	原 昇司	大阪4
437	9:37	市原 孝一	東京農工4
438	9:38	西村徳真	京都1
439	9:39	小林恭輔	東北4
440	9:40	植村 圭祐	東京3
441	9:41	田口 裕也	茨城3
442	9:42	保呂 毅	京都4
443	9:43	津國 真敏	京都2
444	9:44	高橋 伸寧	慶應義塾3
445	9:45	竹内 瞬	東北4
446	9:46	小野田剛太	京都4

Bファイナル 男子3レーンスタート時刻 12:20

Bファイナル 男子4レーンスタート時刻 12:30

【選手権予選 女子1レーン WEQ1】

No.	時刻	氏名	学校/年数
500	9:00	菅藤 望	金沢4
501	9:01	若林 希美	日本女子3
502	9:02	小山田 牧代	千葉2
503	9:03	酒井 秋穂	宮城学院女子3
504	9:04	川崎 恵子	山口3
505	9:05	鋤持 知美	相模女子2
506	9:06	米谷 法子	東京農工2
507	9:07	柘植 春奈	日本女子4
508	9:08	福原 むつみ	宮城学院女子2
509	9:09	橋本 陽子	日本女子3
510	9:10	平井 亜希奈	千葉4
511	9:11	栗原 真季子	日本女子3
512	9:12	川村麻衣	岩手県立1
513	9:13	高木 麻衣	東京農工3
514	9:14	幸村 和美	岩手2
515	9:15	藤沢 知美	東京農工4
516	9:16	鈴木 裕子	金沢4
517	9:17	伊東 佑梨	京都4
518	9:18	原直子	東京女子3
519	9:19	阿久津 麻美	宮城学院女子3
520	9:20	千葉 妙	筑波1
521	9:21	斉藤 桃子	日本女子2
522	9:22	金澤 歩	静岡2
523	9:23	堤 多香子	立命館4
524	9:24	大川 真理子	東京農工4
525	9:25	森澤寿里	奈良女子3
526	9:26	岡 恵子	千葉4
527	9:27	柳川 理恵子	宮城学院女子2
528	9:28	鈴木 千佳	椋山女学園4
529	9:29	高橋 弘恵	茨城2
530	9:30	永井 さや香	千葉3
531	9:31	志村 和子	椋山女学園4
532	9:32	桑野文	京都橋女子4
533	9:33	岡田 美穂	立命館4
534	9:34	武富 翼	龍谷4
535	9:35	石山 佳代子	日本女子3
536	9:36	新谷 紗代子	京都女子3
537	9:37	三矢 麻以	実践女子2
538	9:38	坂本 涼子	京都橋女子2
539	9:39	塚八ゆかり	京都橋女子4
540	9:40	小管 美紗子	岩手2
541	9:41	袴田 優美	実践女子2
542	9:42	日名 有砂	津田塾2
543	9:43	西脇 千可子	椋山女学園4
544	9:44	千葉 光絵	宮城学院女子3
545	9:45	杉本 さや香	東京農工3
546	9:46	下村佳奈	岩手4
547	9:47	白石 佳子	日本女子2

Bファイナル 女子1レーンスタート時刻 12:05

【選手権予選 女子2レーン WEQ2】

No.	時刻	氏名	学校/年数
600	9:00	松石 苑子	京都女子4
601	9:01	白倉 由起	岩手1
602	9:02	中谷 瑞木	早稲田4
603	9:03	西田 幸代	京都女子3
604	9:04	金野 愛子	宮城学院女子1
605	9:05	築山 絢	早稲田3
606	9:06	大迫 響子	日本女子2
607	9:07	堀 智子	東京農工2
608	9:08	金城 千晶	東京女子4
609	9:09	龍野 恵	岡山4
610	9:10	菊池 由喜	宮城学院女子2
611	9:11	坂本 君江	埼玉4
612	9:12	花木 睦子	千葉4
613	9:13	中島 亜香音	静岡2
614	9:14	山本 貴子	千葉2
615	9:15	西田 真梨子	京都橋女子2
616	9:16	荒瀧 紘子	東京農工3
617	9:17	石田 有賀里	金沢2
618	9:18	青島 優	津田塾3
619	9:19	宮地 紋乃	新潟2
620	9:20	岡田 瑛美	早稲田2
621	9:21	吉田 恵美	新潟3
622	9:22	黒澤 侑加	日本女子2
623	9:23	荒井 奈穂美	宮城学院女子3
624	9:24	中野 真希	日本女子4
625	9:25	杉崎真由子	筑波4
626	9:26	加藤 彩	奈良女子3
627	9:27	宮沢 絵美	千葉4
628	9:28	福田 早友里	立命館2
629	9:29	吉野 真弓	相模女子3
630	9:30	伊東 佑初子	筑波2
631	9:31	水野 恵	奈良女子2
632	9:32	峯村綾香	奈良女子3
633	9:33	山路 さわか	東京農工4
634	9:34	村山 郁代	日本女子3
635	9:35	川上 由紀子	新潟2
636	9:36	武村 法	茨城2
637	9:37	小林 美幸	金沢2
638	9:38	門間 幸恵	宮城学院女子3
639	9:39	志度裕子	東京農工3
640	9:40	奥野 侑子	筑波2
641	9:41	角田 明子	岩手県立2
642	9:42	山崎 真希子	実践女子2
643	9:43	藤田 沙織	大阪市立3
644	9:44	車 ゆんそん	東京女子4
645	9:45	澤 菜津美	図書館情報3
646	9:46	朴峠周子	日本女子3
647	9:47	喜多村 唯	新潟2

Bファイナル 女子2レーンスタート時刻 12:15

11. ミドル一般の部 スタートリスト

[MUA1]

10:00	尾崎 友昭	中央3
10:01	吉川 幸輔	図書館情報5
10:02	近藤 大樹	金沢3
10:03	下村 英雄	茨城3
10:04	高塚 史明	千葉2
10:05	斉 淳史	図書館情報4
10:06	宮下 悠	千葉2
10:07	荒井 隆雄	東京農工3
10:08	井口 弘章	東北3
10:09	四方田 雄哉	静岡2
10:10	村田 悠	名古屋4
10:11	高崎 裕一	埼玉4
10:12	田久保 豊	早稲田2
10:13	柴崎 洋志	山口2
10:14	中村 康広	東京工業2
10:15	石川 潤	東京3
10:16	三上 哲也	埼玉4
10:17	金原 慶明	電気通信2
10:18	福田 重一	岩手2
10:19	鈴木 勇雄	新潟3
10:20	佐藤 啓史	東京2
10:21	関口 真宏	中央2
10:22	玉川 隆士	新潟3
10:23	窪田 和博	埼玉3
10:24	泰山 祐	山口2
10:25	浅井 貴弘	岩手2
10:26	清水 陽太	早稲田3
10:27	清水 俊哉	山口4
10:28	辰田 寛和	東京農工4
10:29	近藤 崇	中央3
10:30	中村 倫崇	山口4
10:31	宜保 諒	大阪4
10:32	友永 幸大	東京農工4
10:33	久保 秀男	茨城2
10:34	須賀 博基	茨城2
10:35	清水 尚樹	静岡2
10:36	佐藤 大輔	静岡4
10:37	吹毛井 省吾	中央2
10:38	岩井 俊樹	静岡2
10:39	加藤 航	電気通信2
10:40	水戸部 一貴	電気通信3
10:41	松木 崇	中央2
10:42	清水 恭平	新潟2
10:43	佐藤 秀一	神戸4
10:44	山田 真司	筑波4
10:45	吉田 智志	大阪市立2
10:46	小越 怜壽	東京農業2
10:47	仁平 克輝	茨城2
10:48	堺 信夫	大阪4
10:49	村岡 悠	大阪市立2
10:50	菊池 正之	岩手2
10:51	持丸 智英	千葉3
10:52	朝比奈 洋直	静岡4
10:53	山口 能迪	東京3
10:54	大谷 周平	大阪市立3
10:55	嵯峨 浩端	岩手2
10:56	桜井 悠	岩手3
10:57	八木沼 俊	早稲田4
10:58	綾部 孝	茨城3
10:59	君塚 晃平	埼玉3
11:00	飯田 遼一	東北2
11:01	堀口 裕史	東京農工2
11:02	伊藤 善人	東京工業3
11:03	池田 太志	千葉4
11:04	西岡 英則	名古屋3
11:05	谷内田 功	新潟4
11:06	秋山 征太郎	北海道2
11:07	鎌田 憲幸	岩手3
11:08	京相 健二	茨城3

[MUA2]

11:09	杉町 大輔	立命館2
11:10	橋 俊也	電気通信3
11:11	小澤 健太郎	筑波2
11:12	東條 靖	静岡3
11:13	高橋 直樹	岩手3
11:14	有賀 敏典	京都4
11:15	永松 敦	北海道3
11:16	田島 佑輔	大阪2
11:17	海野 正英	東京工業3
11:18	大薄 隆志	千葉4
11:19	松倉 淳	電気通信3
10:00	芝田 啓亮	岩手県立2
10:01	若林 孝行	立命館2
10:02	水越 悠文	京都4
10:03	吉川 直人	電気通信3
10:04	小林 弘一郎	千葉2
10:05	岡本 正光	千葉3
10:06	小出 洋資	電気通信2
10:07	星河 廣樹	北海道2
10:08	森 英敏	静岡3
10:09	下山 真和	中央3
10:10	永井 大悟	茨城2
10:11	本間 隆一	東京工業2
10:12	岩田 淳	東京工業4
10:13	松田 康彦	金沢2
10:14	北村 俊介	東京工業3
10:15	五嶋 宏通	京都2
10:16	三上 諒	岩手3
10:17	佐川 雅幸	茨城2
10:18	熊田 信次	東京工業4
10:19	石角 直大	京都3
10:20	高橋 誠一郎	大阪市立4
10:21	友安 充宜	東京工業2
10:22	西崎 隼人	名古屋2
10:23	井上 勇樹	大阪市立3
10:24	糸永 幸平	東京工業2
10:25	名木山 滋	大阪市立3
10:26	大庭 正裕	静岡2
10:27	椛澤 基昭	千葉2
10:28	大橋 憲昭	茨城2
10:29	今野 利光	東京工業3
10:30	山尾 勇介	金沢2
10:31	岩野 翔	金沢2
10:32	石崎 秀樹	立命館2
10:33	佐々木 海	東京工業4
10:34	若林 宗平	北海道2
10:35	室川 紘一	新潟3
10:36	林 和男	中央2
10:37	名嘉真 朝将	東京工業4
10:38	中村 勇太	中央2
10:39	青木 孝道	東京4
10:40	天笠 真吾	金沢2
10:41	市川 雄一郎	大阪外国語2
10:42	佐藤 啓一	東北2
10:43	福谷 俊行	神戸4
10:44	保科 泰	新潟2
10:45	金山 隆志	静岡2
10:46	高橋 優	東京農工2
10:47	田尻 智紀	大阪市立2
10:48	赤木 孝信	立命館3
10:49	久保田 壮一	電気通信4
10:50	高橋 裕樹	神戸4
10:51	齋藤 正敏	茨城2
10:52	小森 康孝	金沢3
10:53	内田 昇	大阪4
10:54	渡辺 直	京都4
10:55	小林 且侑	東京農業2
10:56	不破 喬	東京農工3

10:57	平尾 正明	電気通信3
10:58	草場 健一	山口2
10:59	村田 康児	東京農工2
11:00	上田 篤史	京都3
11:01	野口 喜朗	金沢3
11:02	若宮 武	大阪外国語4
11:03	井上 陽介	岩手2
11:04	赤地 祐彦	名古屋3
11:05	福岡 典幸	電気通信2
11:06	茂野 洋一	千葉2
11:07	小川 圭介	慶應義塾2
11:08	高田 裕紀	大阪市立2
11:09	佐久間 唯	東京農工2
11:10	三上 智	神戸2
11:11	鎌田 裕一	電気通信3
11:12	大浅 殖央	東京農工4
11:13	西郷 貴洋	東京2
11:14	信末 俊平	大阪2
11:15	佐藤 高浩	早稲田2
11:16	平岡 正紘	山口4
11:17	浜岡 将司	岩手5
11:18	浅井 聡	埼玉4
11:19	木平 孝和	東京工業3

[WUA]

10:00	柴田 理恵	榊山女学園3
10:01	並河 朋	榊山女学園3
10:02	中瀬 沙織	京都橋女子2
10:03	秋吉 佑紀	図書館情報3
10:04	福森 ちさこ	金沢2
10:05	高橋 香織	相模女子2
10:06	北川 奈津子	山口2
10:07	三上 亜弥	大阪外国語2
10:08	岩瀬 可奈	榊山女学園3
10:09	安藤 ゆき子	京都橋女子4
10:10	池田 智子	津田塾2
10:11	寺島 香織	榊山女学園4
10:12	藤川 麻未	金沢2
10:13	家木 順子	図書館情報3
10:14	漢那 理絵	相模女子3
10:15	岸田 真希	京都橋女子2
10:16	荻野 宏美	京都女子2
10:17	中坪 彩香	京都橋女子2
10:18	鈴木 理恵子	立命館4
10:19	中川 美樹	榊山女学園3
10:20	峯村 真保民	京都女子3
10:21	腰山 いづみ	榊山女学園3
10:22	若林 さゆり	新潟3
10:23	亀山 幸	図書館情報3
10:24	村井 愛	京都女子2
10:25	中山 曉絵	岩手3
10:26	久保 沙織	東京女子4
10:27	吉田 歩美	立命館4
10:28	山口 能登美	榊山女学園3
10:29	入江 早紀	京都女子2
10:30	一本松 諭美	千葉2
10:31	井上 七保子	東京女子3
10:32	戸谷 千夏	日本女子4
10:33	江上 幸子	榊山女学園4
10:34	中島 明日香	京都橋女子2
10:35	桜井 麻衣	中央3
10:36	本田 享子	東京女子3
10:37	倉田 陽子	山口2
10:38	八谷 尚美	山口2
10:39	藤嶋 純子	榊山女学園3
10:40	佐野 恵	図書館情報4
10:41	青山 沙絵	京都女子2
10:42	内記 みづえ	静岡2
10:43	渡辺 りつ子	日本女子3
10:44	本郷 真弓	金沢2

10:45 荒井 友香 新潟3
10:46 吉田 都 京都橘女子3
10:47 浅上 香織 山口2
10:48 三輪 あづみ 相模女子3
10:49 溝端 苗笛 山口2
10:50 葛城 友香 筑波4
10:51 曾根田 友美 京都橘女子2
10:52 工藤 暉 岩手2
10:53 横部 早代 山口2
10:54 中村 理恵子 筑波3
10:55 西山 絵梨香 千葉3
10:56 小澤 優香 日本女子3
10:57 市川 裕子 立命館4
10:58 原 志津香 山口3

[MUB]

11:00 須田 真介 中央1
11:01 田村 優輝 東京4
11:02 佐藤 祐樹 茨城3
11:03 酒井 伸也 東北2
11:04 橋本 壮生 東京農業2
11:05 宮島 隆秀 東京農業2
11:06 岡野 諭 東京4

[WUB]

11:10 小林 史佳 実践女子2
11:11 松井 亜実 東京女子4
11:12 味岡 知津子 実践女子2
11:13 大和 明子 実践女子2

[MUF1]

10:00 志水 博一 関西西1
10:01 時田 学 福島1
10:02 小松 巧実 国際基督教1
10:03 虎井 達哉 埼玉1
10:04 田中 政任 東京1
10:05 白井 佑真 静岡1
10:06 高橋 大輔 岩手1
10:07 中村 準一 福島1
10:08 加藤 陽介 福島1
10:09 南部 荘志 神戸1
10:10 水越 教博 山口1
10:11 福田 元樹 立命館1
10:12 志村 公寛 慶應義塾1
10:13 手塚宙之 慶應義塾1
10:14 山本 秀洋 岩手1
10:15 神山 康 早稲田1
10:16 杉山 尚徳 東北1
10:17 後 洋人 筑波1
10:18 夢藤 健二 静岡1
10:19 舍利弗祐介 金沢1
10:20 蟹江 康洋 東京農工1
10:21 西尾和也 京都1
10:22 加賀谷 暢良 岩手1
10:23 阿部寿洋 東京理科1
10:24 福田孝宣 京都1
10:25 奥田 雅彦 早稲田1
10:26 渡辺 敬喜 新潟1
10:27 小野原 翔 立命館1
10:28 高見 健司 岩手1
10:29 大橋 洋介 慶應義塾1
10:30 早瀬 悠 茨城1
10:31 晴山 雄太 東京農工1
10:32 内野 佳祐 茨城1
10:33 佐藤 翔太 岩手1
10:34 月原 知行 電気通信1
10:35 西久保 史明 東京1
10:36 安達 洋太 静岡1
10:37 古田 義典 山口1
10:38 那須野 勇人 静岡1

10:39 國井 陽輔 岩手1
10:40 諸江 佳樹 東京1
10:41 吉田 知峻 東京1
10:42 中尾 吉男 東京1
10:43 渡辺 聡一郎 早稲田1
10:44 入谷健元 京都1
10:45 田山 恭司 筑波1
10:46 四十木 拓郎 新潟1
10:47 高瀬雄大 北海道1
10:48 並木 政憲 筑波1
10:49 大西崇之 京都1
10:50 佐藤 琢哉 茨城1
10:51 遠藤 俊幸 埼玉1
10:52 永井 成亮 東北1
10:53 樽見 晋平 東京工業1
10:54 松尾 真治 山口1
10:55 永山 貴教 東京農工1
10:56 狭間 裕一 電気通信1
10:57 石川貴之 千葉1
10:58 工藤 琢也 新潟1

[MUF2]

10:00 辻内 俊紘 一橋1
10:01 服部 高明 東京1
10:02 川崎 健志 東北1
10:03 阿竹 雄一郎 東京農工1
10:04 男庭 和則 茨城1
10:05 大塚 康紀 東京農工1
10:06 東 佳祐 筑波1
10:07 岡田 雄治 名古屋1
10:08 岩瀬 祐介 早稲田1
10:09 長縄 知晃 東北1
10:10 萩原 浩之 東京農工1
10:11 石坂仁 千葉1
10:12 大関 直樹 立命館1
10:13 丸藤 純 岩手1
10:14 五十嵐 雅史 慶應義塾1
10:15 比嘉 友紀 東京工業1
10:16 村上 巧 東京工業1
10:17 飯塚 祥太 新潟1
10:18 内田 仁 茨城1
10:19 小泉 俊朗 立命館1
10:20 林 泰斗 東北1
10:21 佐藤 一也 新潟1
10:22 中野 敬太 岩手1
10:23 田中 耕史 東京1
10:24 沖 裕之 東京工業1
10:25 前田 肇 東京1
10:26 佐々木 勇人 岩手1
10:27 青木 大輔 静岡1
10:28 佐々木 崇 新潟1
10:29 川添 智由 筑波1
10:30 横山 恵司 東京農工1
10:31 中 清行 神戸1
10:32 山本 純一 早稲田1
10:33 角森 哲博 岩手1
10:34 前田 直人 金沢1
10:35 高野 幸男 筑波1
10:36 吉岡 慶祐 名古屋1
10:37 後藤 樹 筑波1
10:38 柏村 育郎 東北1
10:39 佐々木 太郎 千葉1
10:40 堀田秀聡 千葉1
10:41 溝川 貴大 東北1
10:42 前川佳介 金沢1
10:43 小松 拓哉 東京1
10:44 新井 康介 東京農工1
10:45 緑川 拓也 新潟1

10:46 丹羽 将隆 静岡1
10:47 渡辺和之 京都1
10:48 吉川貴章 京都1
10:49 野村 佳佑 東京工業1
10:50 景山 健 早稲田1
10:51 田澤 典彦 東京工業1
10:52 佐藤 翔吾 筑波1
10:53 土井 理司 静岡1
10:54 植田 悠太郎 一橋1
10:55 西村 卓也 東京農工1
10:56 三輪 暁人 茨城1
10:57 赤塚 祥悟 筑波1

[WUF]

10:00 稲葉 茜 筑波1
10:01 坂岡 由里江 筑波1
10:02 阪井 美紀 茨城1
10:03 和村 尚子 岩手1
10:04 市川陽子 千葉1
10:05 内堀 美和 茨城1
10:06 菊池 早織 山口1
10:07 湯上 久美子 京都女子1
10:08 藤井静香 岩手県立1
10:09 岩上 香織 津田塾1
10:10 仲真子 金沢1
10:11 井手 恵理子 日本女子1
10:12 水野 利枝子 福山女学園1
10:13 井上 鮎美 静岡1
10:14 北川 麻季子 立命館1
10:15 村上 冴子 福山女学園1
10:16 森田沙織 千葉1
10:17 若橋 愛 福山女学園1
10:18 恒川 紗智子 立命館1
10:19 佐藤まるみ 千葉1
10:20 増田礼子 千葉1
10:21 田村 岬 宮城学院女子1
10:22 笠原綾 日本女子1
10:23 山田 めぐみ 京都女子1
10:24 金子 智美 福山女学園1
10:25 小西 仁美 京都女子1
10:26 玉木智子 奈良女子1
10:27 柴田早斗美 奈良女子1
10:28 山本 美幸 山口1
10:29 金城 すみか 相模女子1
10:30 山下 幸恵 新潟1
10:31 中沢 佳代 実践女子1
10:32 藪田明野 東京女子1
10:33 石蔵 友紀子 津田塾1
10:34 高橋 祐美 実践女子1
10:35 平嶋 真季 相模女子1
10:36 安田 亜美 山口1
10:37 豊田 安由美 筑波1
10:38 塚口淑香 金沢1
10:39 千葉 順子 宮城学院女子1
10:40 出雲 智子 東北1
10:41 西 美保 静岡1
10:42 伊藤美佳 金沢1
10:43 河野愛生 東京女子1
10:44 菊池 寛子 宮城学院女子1
10:45 大西 梓実 東京女子1
10:46 川崎 有季 奈良女子1
10:47 町田 由布子 新潟1
10:48 鹿嶋由喜 岩手県立1
10:49 大類 景子 茨城1
10:50 星野綾香 金沢1
10:51 石井 沙也香 日本女子1
10:52 二宮 恵子 山口1
10:53 塚本 翔子 津田塾1

12. リレー選手権の部 チーム番号リスト

【ME】(27チーム)

< 前回大会完走順 >

- 01 東京大学
- 02 東北大学
- 03 京都大学
- 04 東京農工大学
- 05 静岡大学
- 06 金沢大学
- 07 早稲田大学
- 08 東京工業大学
- 09 千葉大学
- 10 図書館情報大学
- 11 慶應義塾大学
- 12 大阪大学
- 13 北海道大学
- 14 筑波大学
- 15 岩手大学
- 16 新潟大学
- 17 茨城大学
- 18 名古屋大学
- 19 神戸大学
- 20 東京農業大学

< 以下、学校コード順 >

- 31 中央大学
- 32 一橋大学
- 33 埼玉大学
- 34 国際基督教大学
- 35 大阪市立大学
- 36 立命館大学
- 37 山口大学

【WE】(21チーム)

< 前回大会完走順 >

- 51 千葉大学
- 52 筑波大学
- 53 東京農工大学
- 54 宮城学院女子大学
- 55 日本女子大学
- 56 奈良女子大学
- 57 金沢大学
- 58 茨城大学
- 59 椋山女学園大学
- 60 東京女子大学
- 61 新潟大学
- 62 津田塾大学
- 63 早稲田大学
- 64 京都橘女子大学
- 65 立命館大学

< 以下、学校コード順 >

- 81 岩手大学
- 82 実践女子大学
- 83 相模女子大学
- 84 静岡大学
- 85 京都女子大学
- 86 山口大学

13. リレー一般の部 チーム番号リスト

【MUR】

学校	チーム名	コード
岩手大学	MA ~ MH	101 ~ 108
東北大学	MA ~ MI	109 ~ 117
北海道大学	MA ~ MB	118 ~ 119
福島大学	MA	120
金沢大学	MA ~ ME	121 ~ 125
新潟大学	MA ~ MD	126 ~ 129
慶應義塾大学	MA ~ MC	130 ~ 132
千葉大学	MA ~ ME	133 ~ 137
中央大学	MA ~ MB	138 ~ 139
筑波大学	MA ~ ME	140 ~ 144
東京大学	MA ~ MK	145 ~ 155
東京農工大学	MA ~ MG	156 ~ 162
早稲田大学	MA ~ MD	163 ~ 166
図書館情報大学	MA	167
電気通信大学	MA ~ MD	168 ~ 171
東京農業大学	MA	172
埼玉大学	MA	173
東京工業大学	MA ~ MI	174 ~ 182
茨城大学	MA ~ MD	183 ~ 186
静岡大学	MA ~ MF	187 ~ 192
名古屋大学	MA ~ MC	193 ~ 195
大阪大学	MA ~ MB	196 ~ 197
大阪市立大学	MA	198
京都大学	MA ~ MG	199 ~ 205
神戸大学	MA ~ MB	206 ~ 207
立命館大学	MA	208
山口大学	MA ~ MB	209 ~ 210

【WUR】

学校	チーム名	コード
岩手大学	WA	301
宮城学院女子大学	WA ~ WC	302 ~ 304
金沢大学	WA ~ WB	305 ~ 306
新潟大学	WA	307
千葉大学	WA ~ WC	308 ~ 310
筑波大学	WA ~ WB	311 ~ 312
東京農工大学	WA ~ WB	313 ~ 314
図書館情報大学	WA	315
実践女子大学	WA	316
相模女子大学	WA	317
東京女子大学	WA ~ WB	318 ~ 319
日本女子大学	WA ~ WE	320 ~ 324
津田塾大学	WA	325
椋山女学園大学	WA ~ WD	326 ~ 329
立命館大学	WA	330
京都女子大学	WA ~ WB	331 ~ 332
京都橘女子大学	WA ~ WB	333 ~ 334
奈良女子大学	WA	335
山口大学	WA ~ WC	336 ~ 338

【XUR】

学校	チーム名	コード
岩手県立大学	XA ~ XB	401 ~ 402
新潟大学	XA ~ XB	403 ~ 404
千葉大学	XA	405
図書館情報大学	XA	406
茨城大学	XA ~ XB	407 ~ 408
静岡大学	XA	409
大阪市立大学	XA	410
京都大学	XA	411
立命館大学	XA ~ XB	412 ~ 413
大阪外国語大学	XA	414

14.ミドル 参加者数一覧

コード	学校	ME	WE	MUA	MUB	MUF	WUA	WUB	WUF	出場計
101	岩手大学	7	4	10	0	10	2	0	1	34
102	東北大学	20	0	3	1	7	0	0	1	32
103	北海道大学	5	0	4	0	1	0	0	0	10
142	宮城学院女子大学	0	9	0	0	0	0	0	3	12
144	岩手県立大学	1	2	1	0	0	0	0	2	6
145	福島大学	1	0	0	0	3	0	0	0	4
201	金沢大学	10	4	7	0	3	3	0	4	31
203	新潟大学	8	4	6	0	7	2	0	2	29
303	慶應義塾大学	7	0	1	0	4	0	0	0	12
305	千葉大学	9	7	9	0	4	2	0	4	35
306	中央大学	1	0	8	1	0	1	0	0	11
307	筑波大学	8	4	2	0	9	2	0	3	28
309	東京大学	22	0	5	2	9	0	0	0	38
310	東京農工大学	8	9	9	0	9	0	0	0	35
311	東京理科大学	0	0	0	0	1	0	0	0	1
314	武蔵大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
315	横浜国立大学	1	0	0	0	0	0	0	0	1
317	早稲田大学	8	3	4	0	6	0	0	0	21
318	図書館情報大学	5	1	2	0	0	4	0	0	12
319	実践女子大学	0	3	0	0	0	0	3	2	8
341	一橋大学	1	0	0	0	2	0	0	0	3
342	電気通信大学	0	0	11	0	2	0	0	0	13
344	東京農業大学	2	0	2	2	0	0	0	0	6
346	埼玉大学	2	1	5	0	2	0	0	0	10
350	相模女子大学	0	2	0	0	0	3	0	2	7
356	東京工業大学	13	0	13	0	6	0	0	0	32
358	東京女子大学	0	3	0	0	0	3	1	3	10
364	日本女子大学	0	12	0	0	0	3	0	3	18
369	津田塾大学	0	2	0	0	0	1	0	3	6
372	茨城大学	4	2	10	1	6	0	0	3	26
375	大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
388	国際基督教大学	1	0	0	0	1	0	0	0	2
397	東京都立大学	2	0	0	0	0	0	0	0	2
401	静岡大学	7	2	9	0	7	1	0	2	28
402	名古屋大学	6	0	4	0	2	0	0	0	12
444	椋山女学園大学	0	3	0	0	0	9	0	4	16
501	大阪大学	5	0	5	0	0	0	0	0	10
502	大阪市立大学	2	1	8	0	0	0	0	0	11
503	関西大学	1	0	0	0	1	0	0	0	2
504	京都大学	16	1	6	0	6	0	0	0	29
506	神戸大学	3	0	4	0	2	0	0	0	9
507	立命館大学	3	3	4	0	4	3	0	2	19
541	京都女子大学	0	3	0	0	0	5	0	3	11
543	京都橘女子大学	0	4	0	0	0	7	0	0	11
545	奈良女子大学	0	4	0	0	0	0	0	3	7
546	大阪外国語大学	0	0	2	0	0	1	0	0	3
597	龍谷大学	1	1	0	0	0	0	0	0	2
602	山口大学	1	1	6	0	3	7	0	4	22
649	岡山大学	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計		191	96	160	7	117	59	4	54	688

15. リレー 参加者数およびチーム数一覧

TO = チームオフィシャル

コード	学校	ME	WE	MUR	WUR	XUR	MUS	WUS	TO	人数計
101	岩手大学	1	1	8	1	0	0	1	2	34
102	東北大学	1	0	9	0	0	1	0	2	31
103	北海道大学	1	0	2	0	0	1	0	1	10
142	宮城学院女子大学	0	1	0	3	0	0	0	1	12
144	岩手県立大学	0	0	0	0	2	0	0	1	6
145	福島大学	0	0	1	0	0	1	0	0	4
201	金沢大学	1	1	5	2	0	2	2	3	31
203	新潟大学	1	1	4	1	2	2	0	3	29
303	慶應義塾大学	1	0	3	0	0	0	0	2	12
305	千葉大学	1	1	5	3	1	2	0	2	35
306	中央大学	1	0	2	0	0	1	1	0	11
307	筑波大学	1	1	5	2	0	1	0	4	28
309	東京大学	1	0	11	0	0	2	0	2	38
310	東京農工大学	1	1	7	2	0	2	0	3	35
311	東京理科大学	0	0	0	0	0	1	0	1	1
314	武蔵大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
315	横浜国立大学	0	0	0	0	0	1	0	0	1
317	早稲田大学	1	1	4	0	0	4	0	1	22
318	図書館情報大学	1	0	1	1	1	0	0	3	12
319	実践女子大学	0	1	0	1	0	0	2	1	8
341	一橋大学	1	0	0	0	0	1	0	0	4
342	電気通信大学	0	0	4	0	0	1	0	0	13
344	東京農業大学	1	0	1	0	0	2	0	1	6
346	埼玉大学	1	0	1	0	0	1	0	1	7
350	相模女子大学	0	1	0	1	0	0	1	2	7
356	東京工業大学	1	0	9	0	0	2	0	2	32
358	東京女子大学	0	1	0	2	0	0	1	1	10
364	日本女子大学	0	1	0	5	0	0	0	2	18
369	津田塾大学	0	1	0	1	0	0	0	1	6
372	茨城大学	1	1	4	0	2	2	0	1	26
375	大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
388	国際基督教大学	1	0	0	0	0	0	0	1	3
397	東京都立大学	0	0	0	0	0	2	0	1	2
401	静岡大学	1	1	6	0	1	0	0	2	27
402	名古屋大学	1	0	3	0	0	0	0	1	12
444	椋山女学園大学	0	1	0	4	0	0	1	2	16
501	大阪大学	1	0	2	0	0	1	0	1	10
502	大阪市立大学	1	0	1	0	1	2	0	1	11
503	関西大学	0	0	0	0	0	2	0	0	2
504	京都大学	1	0	7	0	1	2	0	4	29
506	神戸大学	1	0	2	0	0	0	0	1	9
507	立命館大学	1	1	1	1	2	1	0	0	19
541	京都女子大学	0	1	0	2	0	0	1	1	10
543	京都橘女子大学	0	1	0	2	0	0	2	2	11
545	奈良女子大学	0	1	0	1	0	0	1	1	7
546	大阪外国語大学	0	0	0	0	1	0	0	0	3
597	龍谷大学	0	0	0	0	0	1	1	0	2
602	山口大学	1	1	2	3	0	1	0	2	22
649	岡山大学	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計		27	21	110	38	14	42	15	63	685

16. 日本学生オリエンテーリング選手権 実施規則

条項に(ロング), (ミドル), (リレー)とある場合, 当該条項は, 該当する競技種目にのみ適用される。

第1章 全般的な規則

第1条 規則の適用

- 1.1 この規則は, 日本学生オリエンテーリング連盟(以下, 日本学連と略す)が主催する, 日本学生オリエンテーリング選手権大会(以下, インカレと略す)に適用される。
- 1.2 すべての選手登録者, 選手を支援する者(以下, チームオフィシャル), 競技を運営する者及びその他の併設大会参加者・観戦者・報道関係者など選手権競技者と接する者は, この規則に従う。
- 1.3 競技者ならびに主管者は, この規則の解釈にあたっては, スポーツとしての公正さの保持を第一義としなければならない。
- 1.4 インカレ実施規則で定められた事項を, 当該インカレに限定して不適用とし, 変更する必要がある場合, 技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は, 要項に明記される。

第2条 競技部門と競技形態・種別

- 2.1 インカレは, 次の6つの競技部門を設ける。
男子ロング: 個人ロング・ディスタンス競技部門
女子ロング: 個人ロング・ディスタンス競技部門
男子ミドル: 個人ミドル・ディスタンス競技部門
女子ミドル: 個人ミドル・ディスタンス競技部門
男子リレー: 3名のリレー競技部門
女子リレー: 3名のリレー競技部門
- 2.2 インカレは, すべて昼間競技で行う。
(ロング, リレー)
- 2.3 ロング, リレーは, 単一レース競技で行う。
(ミドル)
- 2.4 ミドルは, 予選・決勝レース競技で行う。
- 2.5 インカレは, すべてポイント競技で行う。
- 2.6 男子ロング・女子ロングにおける優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者, 男子ミドル・女子ミドルにおける優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者, 男子リレー・女子リレーに

おける優勝校をリレー競技選手権校とする。

第3条 日程

- 3.1 インカレの各競技部門の開催は, 年1回とする。
- 3.2 インカレの日程と正式名称は, 原則として次のとおりとする。
秋インカレ(8月~12月): ロング
春インカレ(1月~3月):
第1日 ミドル午前: 予選
午後: 決勝
第2日 リレー
- 3.3 インカレは, 開会式, 閉会式を別途行うことができる。

第4条 参加規定

- 4.1 選手権競技者は, 以下のすべての条件を満たす。
 - ・日本学連の加盟員であること
 - ・初めて日本学連に登録した年度から数えて4年以内
 - ・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満
- 4.2 各加盟校及び各準加盟校(以下, 各校と略す)は, 選手権競技者資格を有する者からなる選手登録名簿を申し込み時に提出する。

(ロング)

- 4.3 ロングの競技者数は, 男子60名, 女子40名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。
但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ロングの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(ミドル)

- 4.4 ミドルの競技者数は, 男子160名, 女子70名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ミドルの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(リレー)

- 4.5 リレーの出場資格校は, 日本学連の加盟校及び準加盟校とする。各校は, 男女各々1チームをリレーに出場させることができる。リレーのチームは, 選手登録名簿に記載された者により構成される。但し, 男子リレーに女子選手を出場させることができる。
- 4.6 各校は, 選手登録者とは別に, チームオフィシ

ヤルを同行させることができる。各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下のとおりとする。

男子クラスの選手登録に対して、2名
女子クラスの選手登録に対して、2名

a チームオフィシャル登録者は、以下のいずれかの条件を満たす。

- ・日本学連の加盟員であること
- ・日本学連の評議員であること
- ・日本学連の賛助会員であること

b 各校は、チームオフィシャル資格を有する者からなるチームオフィシャル登録名簿を申し込み時に提出する。

4.7 参加者は、自己の安全に対して自分で責任を負う。参加者が負った怪我、障害、損害について主催者は一切責任をもたない。また、参加者が第三者に与えた損害についても参加者自身が責任を負う。

第5条 要項

5.1 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付する。

5.2 インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。

要項1（11カ月前）:

開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域

要項2（4カ月前）:

日程、トレインの概要、地図に関する情報（縮尺、等高線間隔、走行可能度表示）、トレインの標高（コースの15%以上が1,200mを超える場合のみ）、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日、申込用紙

要項3（2週間前）:

気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認

された実施規則の不適用条項と変更内容、
その他競技に関する留意事項

第6条 申し込み

6.1 インカレの申し込みは、所定の用紙によって、要項2に示された締切日までに行われる。但し、選手登録名簿の変更は、大会開催の6週間前まで認められる。

(ロング)

6.2 各地区学連の代表者は、ロングにおいて、競技前日の16時までであれば、競技者を交替させることができる。

(ミドル)

6.3 ミドルにおいては、第6条第1項に定める期間を超えて、予選の競技者を交替させることはできない。

(リレー)

6.4 リレー出場校は、リレーの競技者と競技順を競技前日の16時まで提出する。競技者に不慮の事故の場合、リレー競技開始1時間前までであれば競技者を交替させることができる。但し、この場合は裁定委員の承認を必要とする。

第7条 トレーニングとモデルイベント

7.1 事前に実際の競技で使用するものに似たテレイン・地図でのトレーニングの機会が提供されることが望ましい。

7.2 競技の前日に、モデルイベントが提供されることが望ましい。モデルイベントでは、実際の競技におけるテレインのタイプ、地図の質、コントロールの置かれる特徴物、コントロール器具の設置状態、給水コントロールの設置状態、誘導区間のそれぞれの状況がわかることが望ましい。

7.3 電子パンチングシステムを使用する場合、モデルイベントにおいて実際の競技に用いる器具の使用機会が提供されることが望ましい。

第8条 スタート順の決定とスタートリスト

(ロング、ミドル)

8.1 ロング、ミドル予選のスタート抽選は、公平な立会人の元で、あるいは公開で行われ、当該競技前日の17時までには発表される。

(ロング)

8.2 ロングにおいては、スタート順等において配慮

される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。人数は男子10名以内、女子7名以内とする。

(ロング)

- 8.3 ロングは、男女それぞれ1人ずつ同一の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。スタート間隔は、少なくとも2分間はとるものとする。

(ミドル)

- 8.4 ミドルにおいては、各地区学連の選手は、各予選組になるべく均等な人数となるよう振り分けられる。

(ミドル)

- 8.5 ミドル予選のスタート組順等において配慮される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、各予選組になるべく均等な人数となるよう振り分けられる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。人数は男子16名以内、女子10名以内とする。

(ミドル)

- 8.6 ミドル予選、決勝とも同一の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。ミドル予選のスタート間隔は、少なくとも1分間はとるものとし、ミドル決勝のスタート間隔は、少なくとも2分間はとるものとする。

(リレー)

- 8.7 リレーにおけるコースの組み合わせの抽選は、公平な立会人の元で、あるいは公開で行われる。コースの組み合わせは、最後の競技者がスタートするまで秘密にされる。

(リレー)

- 8.8 リレーのスタートは、マススタートとする。

第9条 成績

- 9.1 成績速報は、競技進行中順次掲示される。フィニッシュ閉鎖後1時間以内にすべて掲示される。
- 9.2 公式成績には、失格者も含めすべての競技者が記載される。リレーの成績は、競技順・各競技者の名前と所要時間・コースの分割方法と組み合わせも記載される。

第10条 調査依頼と提訴

- 10.1 各校は、競技者、あるいは主管者の規則に対する違反についての調査依頼を行うことができ

る。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

- 10.2 調査依頼に対する主管者の回答に疑義がある場合、提訴を行うことができる。提訴は、裁定委員会に対し文書で行う。

第11条 表彰

- 11.1 各競技部門6位までを表彰する。
- 11.2 参考記録の者及び学校は表彰の対象とならない。

第12条 報告書

- 12.1 各競技終了後3カ月以内に、主管者は次の内容の報告書を作成する。
- ・大会実施報告
 - ・スタート順と公式成績
 - ・イベント・アドバイザーの報告
 - ・将来への提言
- 12.2 報告書は、すべての加盟校及び準加盟校、日本学連事務局、及び次年度の主管者に送付される。

第2章 競技に関する規則

第13条 テレイン

- 13.1 テレインは、インカレのコース設定に適していなければならない。テレインの選定に際しては、環境保護に十分留意しなければならない。
- 13.2 特定の競技者が有利になることがないように、インカレ以前には出来るだけ長い期間、オリエンテーリングに使用されていないものとする。

第14条 コース

- 14.1 インカレのコース設定にあたっては、『国際オリエンテーリング連盟(IOF)の『コース設定の原則』に従う。
- 14.2 コースの水準は、インカレに適格でなければならない。
- 14.3 コントロールを回る順番は、主管者によって指定される。競技者はこれを守り、主管者はこれを確認する。
- 14.4 コース上の誘導区間は、競技者は必ずこれをたどるものとする。誘導区間の開始地点には必ずコントロールを置く。

14.5 男子コースと女子コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。

(ミドル)

14.6 ミドルでは、予選コースと決勝コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。

14.7 選手権以外のコースがある場合、可能な限りコントロールは別のものを用いる。

14.8 リレーでは、コントロールは分割され、チームごとに別々に組み合わせられる。全チームが順番は異なっても、全体としては同一のコースを回る。組み合わせは、全区間にわたることが望ましい。

14.9 管理者は、環境保護のための指示を競技者に与えることができる。競技者は、これを厳守しなければならない。

(ミドル)

第 15 条 ミドル予選

15.1 予選は各組が均等な人数になるよう、男子を第 1 組、第 2 組、第 3 組、第 4 組に、女子を第 1 組、第 2 組に分けて行われる。予選各組の距離、登距離、難易度は同程度とする。

15.2 予選の競技時間は 1 時間以内とし、これを越えた者は失格となり、決勝へは進出できない。予選のフィニッシュは、予選の最終スタートの 1 時間後に閉鎖する。

15.3 男子予選各組の上位 10 位までの者、女子予選各組の上位 12 名までの者が、決勝に進出する。予選同組内において、同着により男子 10 名以上が 10 位以内、女子 12 名以上の者が 12 位以内となった場合は、その全員が決勝に進出する。

(ミドル)

第 16 条 ミドル決勝

16.1 決勝は、予選のフィニッシュ閉鎖から 60 分以内にスタートリストを発表し、予選のフィニッシュ閉鎖から 2 時間以上経過してから競技を開始することが望ましい。

16.2 決勝のスタートは、予選通過順位下位の者から行う。予選他組の同順位者は、第 1 組が最初に、第 2 組が 2 番目に、第 3 組が 3 番目に(男子のみ)、第 4 組が 4 番目に(男子のみ)行う。予選同組内で同順位者が複数いる場合、予選のスタート時刻が先の者を上位と見なして決勝のスタート順に反映させる。

16.3 決勝を欠場する者がいた場合、予選不通過者からの補充は行わない。

16.4 決勝の競技時間は 1 時間以内とし、これを越えた者は失格となり、表彰の対象にならない。決勝のフィニッシュは、決勝の最終スタートの 1 時間後に閉鎖する。

第 17 条 距離と登距離

17.1 コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	男子	女子
ロング	80 分	65 分
ミドル予選	20 分	20 分
ミドル決勝	25 分	25 分
リレー(各競技者)	50 分	50 分

17.2 コース距離は、スタートからすべてのコントロールを経由してフィニッシュまでの直線距離で示される。但し、物理的に通過不能な障害物(高いフェンス、湖、通れない崖等)、立ち入り禁止区域および誘導区間は、迂回した距離で測定する。

17.3 コース距離は、要項 3 で実際のコース距離が発表される。

17.4 登距離は最も速く走れると予想されるルートでの登距離で示される。ロングの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の 6 % を越えないように設定される。ミドル、リレーの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の 5 % を越えないように設定される。

17.5 登距離は要項 3 で実際の登距離が発表される。

第 18 条 地図

18.1 地図は I O F の『オリエンテーリング地図国際図式規程』に適合したものを使用する。特別な表記の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。これらの変更点は、要項 3 に明記される。

18.2 地図印刷後に生じたトレイン内の変化のうち、競技に影響を与えるものは、地図上で修正される。

(ロング)

18.3 ロングに使用する縮尺は 1 万 5 千分の 1 で、等高線間隔は 5 m とする。トレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等

- のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。
- (ミドル、リレー)
- 18.4 ミドル、リレーに使用する縮尺は1万分の1で、等高線間隔は5mとする。トレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。
- 18.5 競技に影響を与える恐れがあり、かつ、地図からは読み取れないトレイン内のコンディションについては、遅くとも要項3で発表される。
- 18.6 競技用地図は、水分や損傷に耐えるように両面が保護される。
- 18.7 競技に使用するトレインに過去のオリエンテーリング地図がある場合、これらの地図は、競技に先立ってすべての加盟校及び準加盟校に公開される。
- 18.8 競技当日は、主管者の許可が出るまでは選手登録者及びチームオフィシャルが競技区域のいかなる地図を利用することも禁止する。
- 第19条 地図上でのコースの表記
- 19.1 競技用地図は、以下のように表記される。
- ・オリエンテーリングの開始地点は、正三角形(1辺7mm)
 - ・コントロールは、円(直径6mm)
 - ・フィニッシュは、2重同心円(直径5mmと7mm)
 - ・誘導区間は、破線。
- 19.2 三角形、及び、円の中心は特徴物の正確な位置を示す。コントロールフラッグが特徴物の周囲に設置される場合でも、特徴物を中心として印刷される。
- 19.3 コントロールは、回る順番を指示するために、南を下にして正立された数字によって示される。
- 19.4 誘導区間がある場所を除き、三角形と円は、直線により、順番に結ばれる。コントロールの円とそれを結ぶ直線は、重要な地図上の表現を見えにくくする場合には、部分的に直線を切ったり、細く描いたりすることができる。
- 19.5 誘導区間は、すべて地図上に示される。誘導区間の終端から再びオリエンテーリングを開始する場合は、地図上で破線の終端と次のコントロールが直線で結ばれる。
- 19.6 コース印刷においては、透明な赤紫色、あるいは赤色を使用する。
- 第20条 その他の追加表記
- 20.1 危険回避のための立ち入り禁止の範囲は、斜めクロスのハッチングをする。その他の理由による立ち入り禁止の範囲は、垂直のハッチングをする。外郭線は以下のように表記される。
- ・現地でテープなどが連続して表示される場合は、実線。
 - ・現地でテープなどが間隔を置いて表示される場合は、破線。
 - ・現地で表示のない場合は、外郭線を記入しない。
- 20.2 通行禁止のルート(自動車道など)は、×の連続で表す。
- 20.3 外向きの2つの括弧(は、コースに関する重要通過地点、経路(例:渡河地点、道の下のトンネル)を示すのに用いられる。
- 20.4 追加表記の色は、コースと同一の色とする。
- 第21条 コントロール位置説明
- 21.1 コントロールの位置説明は、IOFの『コントロール位置説明作成規程』に従って作成する。
- 21.2 コントロール位置説明表は、地図の表面に貼付されるか、印刷される。
- (ロング)
- 21.3 ロングのコントロール位置説明表は、競技が開始されるまでに参加者に配布される。
- (ミドル)
- 21.4 ミドル予選のコントロール位置説明表は、事前に公表しない。但し、特殊な位置説明記号を用いる場合には、その記号について要項3で公表される。
- (ミドル)
- 21.5 ミドル決勝のコントロール位置説明表は、事前に公表しても良い。
- (リレー)
- 21.6 リレーで使用されるすべてのコントロール位置説明の一覧は、リレー前日の代表者ミーティングが始まるまでに参加各校の代表者に配布される。但し、コントロールのつながりについては表示されない。

飲料水が用意される。

第22条 現地における表示

- 22.1 誘導区間は、赤と白の2色のテープにより示される。
- 22.2 立ち入り禁止区域の外郭が表示される場合、青と黄の2色のテープにより示される。

第23条 コントロールの設置と器具

- 23.1 すべてのコントロールには、コントロールフラッグが設置される。
- 23.2 コントロールフラッグは、3つの正方形を三角柱状に結合した形とする。それぞれの面は、およそ30cm×30cmで、対角線によって2分して白とオレンジに色分けする。
- 23.3 コントロールフラッグは、地図上に示された特徴物の場所に、競技者が特徴物にたどり着いたときに見えるようにして設置される。
- 23.4 コントロールは、互いに30m以内に近接して設置してはならない。さらに、特徴物が同じコントロールは、互いに60m以内に近接して設置してはならない。
- 23.5 コントロールは、その場所に競技者がいるかいないかで難易度が変わらないような場所が望ましい。
- 23.6 すべてのコントロールは、数字によるコントロール識別番号で区別される。コントロール識別番号は白地に黒で書かれ、競技者がはっきり読めるように示される。
- 23.7 コントロールの器具は、コース上のすべてのコントロールで同一のものを使用する。十分な数のパンチもしくはユニットをコントロールフラッグのすぐ近くに設置する。
- 23.8 コントロールは、有人であることが望ましい。コントロール役員は、コントロールを通過した競技者のナンバー、及びチェックした時刻を記録する。また、コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。
- 23.9 優勝設定時間が60分を超える競技は、給水コントロールを設ける。給水コントロールには、

第24条 パンチングシステム

- 24.1 使用するパンチングシステムは、別にこれを定める。
- 24.2 コントロールカードは、競技開始に先立って競技者もしくは参加各校の代表者に配布される。
- 24.3 競技者は、各コントロールにおいて用意された器具を用いてコントロールカード(電子コントロールカードを含む)に正確にパンチして記印する責任を有する。正確なパンチを故意に怠ることにより利を得ようとした競技者は、失格とされる。
- 24.4 主管者は、いくつかの指定したコントロールで、役員による競技者のコントロールカード検査、及び役員の手による記印を行うことができる。
- 24.5 コントロールカードにパンチされていない、あるいは判別できない場合、この競技者は失格となる。但し、その理由が競技者の過失でないもの(パンチ・ユニットの不調や紛失など)であった場合は、失格とならない。

第25条 スタート

(ロング、ミドル)

- 25.1 ロング、ミドルはプレスタート方式とすることができる。この場合、競技者がスタートへゆっくり走って行って間に合うようにプレスタートを設定する。

(ロング、ミドル)

- 25.2 ロング、ミドルでは、競技者はスタートと同時に自分で地図を取る。

(リレー)

- 25.3 リレーでは、第1競技者はスタートと同時に、以降の競技者はスタート後の地図の支給地点で、自分で地図を取る。
- 25.4 正しい地図を取るのには、競技者の責任である。主管者は、競技者が他の競技者によって妨げられることなく地図を取れるように配慮し、競技者が間違った地図を取らないように充分注意する。
- 25.5 すべての競技者は、最低20分のウォーミングアップをする時間を取れる。スタート前の競技者とチームオフィシャル以外は、ウォーミングアップエリアに入れない。ウォーミングアップエリアは、スタートのできる限り近くに設定す

- る。
- 25.6 オリエンテーリングの開始地点は、地図上で三角のスタート記号で示される。現地にはコントロールフラッグを置く。
- 25.7 オリエンテーリングの開始地点は、地図面あるいは先行する競技者のルート選択が、スタート前の競技者その他に見えないような場所に設定される。必要に応じて、スタートからオリエンテーリングの開始地点までを誘導区間とすることができる。
- 25.8 競技者が自己の責によりスタートに遅刻した場合、到着次第すぐにスタートすることができる。この場合、正規のスタート時刻にスタートしたもものとして計時される。但し、正規にスタートする競技者に影響を与える恐れのある場合には、スタートを遅らせることができる。
- 25.9 主管者の責により競技者が遅刻した場合、競技者は、新しいスタート時刻を与えられる。
- (リレー)
- 25.10 リレーでは、次競技者は引継を受ける3分以上前に、前競技者が近づいたことを告知される。但し、主管者は告知に問題があっても責任を負わない。
- (リレー)
- 25.11 リレーにおいて、次競技者への引継は、計時線を越えたあとの指定された区域(チェンジオーバーエリア)で、両競技者の接触により行う。
- (リレー)
- 25.12 リレーにおいて、運営を円滑に行うために、優勝の決定後であれば、未出走の競技者をマスタートで出走させることができる(リスタート)
- 第26条 フィニッシュ
- 26.1 計時線は、フィニッシュへの走路に対して直角とする。
- 26.2 計時線は、競技者が遠くから識別できるようになっていなければならない。
- 26.3 計時線を通過した競技者は、コントロールカードと、パンチ記印のついたあらゆるもの(例:コントロールカードケースなど)をフィニッシュ役員に手渡す。リレーでは、地図とコントロール位置説明表も手渡す。
- 26.4 フィニッシュ閉鎖時刻は、事前に発表される。
- 26.5 フィニッシュ地点には、救護所を置く。

第27条 計時と順位

- 27.1 フィニッシュ時刻は、計時線のところで計られる。その時刻は、競技者の胸が計時線を横切った時刻、あるいは競技者が計時線上でパンチした時刻とする。計時は秒単位まで行う。秒以下については切り捨てる。タイムは、時・分・秒、あるいは、分・秒のどちらかで表示される。
- 27.2 コントロールを抜かした場合(あるいは、間違ったコントロールをチェックした場合)、また、指定された以外の順番でコントロールを回ったことが判明した場合には、競技者は失格となる。
- (ロング、ミドル)
- 27.3 ロング、ミドルでは、2人以上の競技者が同タイムの場合、これらの競技者は同順位となる。成績表・報告書の中で彼らは同順位となるが、スタート順に並べられる。また、この場合次の順位は空位とする。
- (リレー)
- 27.4 リレーでは、チームの全競技者の合計タイムがそのチームの成績となる。チームの順位は、最終競技者のフィニッシュした順番により決定される。着順判定員が順位判定を下す。同着はない。
- 27.5 リスタートをしたチームは参考記録とする。
- 27.6 競技時間は、ロングでは2時間30分まで、ミドル予選・決勝では60分までとする。この時間を超えた競技者は失格とする。リレーでは5時間までとする。この時間を超えたチームは失格とする。

第28条 服装と用具

- 28.1 主管者が定めない限り、服装の選択は自由である。
- 28.2 ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ナンバーカードの大きさは、25×25cmを超えないものとする。数字は、最低でも10cm以上の高さが必要である。
- 28.3 競技中は、コンパス、時計と、主管者から支給された地図、コントロールカード、コントロール位置説明表のみ使用してよい。その他のオリエンテーリングの技術的な補助器具の使用は禁止する。

第29条 競技上の公正

- 29.1 インカレに関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係者、観客、テレインや大会区域に居住する人たちを尊重しなければならない。
- 29.2 主催者は、イベント・アドバイザーの同意を得て、前もって競技を行うテレインの位置を公表するとともに、立入禁止区域を設定することができる。テレインの位置を公表しない場合、すべての役員は、大会区域とテレインを厳重に秘密にしておかなくてはならない。
- 29.3 選手登録者及びチームオフィシャルは、競技を行うテレインにあらかじめ立ち入ることは禁止される。主催者により発表された事項以上のコースに関する情報を得ようとすることは、禁止される。
- 29.4 競技中は、以下の行為を禁止する。
- ・ 外部からの助力を得ること
 - ・ 共同で走り、方向決定を行うこと
 - ・ 故意に他の競技者を追走し、その競技者の能力を利用しようとする
 - ・ 他の者から情報を得ようとする
- 29.5 競技者は、一度計時線を越えたら、主催者の許可なく競技区域に入ってはならない。
- 29.6 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過し、コントロールカードを主催者に渡さなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならず、他の競技者を助けてはならない。
- 29.7 あらゆる種類の移動手段の利用は、禁止される。
- 29.8 参加者及び主催者は、競技を妨害してはならない。
- 29.9 インカレ実施規則を犯したことが判明した競技者は、失格となる。

第3章 運営に関する規則

第30条 インカレ実行委員会

- 30.1 インカレは、インカレ実行委員会が主管する。
- 30.2 インカレ実行委員会は、当該インカレの1年前までに理事会の承認のもとで組織される。

第31条 秘密保持

- 31.1 主催者、イベント・アドバイザー及びその補佐、その他テレインやコースを知る者は競技上の公正さを保つための秘密を保持する義務を負う。

第32条 経費

- 32.1 インカレ運営に関する経費は、主催者が支出する。
- 32.2 主催者は、参加者から参加費を徴収することができる。

第33条 裁定委員会

- 33.1 裁定委員会は、異なる出身校の3名で構成される。裁定委員は、理事会が指名し、競技の前日までに全員の氏名が公表される。裁定委員は、大会組織に関与してはならない。
- 33.2 裁定委員会の審議には、イベント・アドバイザーと主催者の代表は参考人として出席することができる。
- 33.3 裁定委員会は、大会中に起きた規則あるいはその他の問題に対する提訴に裁定を下す。裁定委員会の審議は、3人全員の出席をもって成立する。任務を遂行できない裁定委員があったときには、理事会は代理を指名しなければならない。
- 33.4 裁定委員会の判断は最終的なものである。

第34条 イベント・アドバイザー

- 34.1 イベント・アドバイザーは、日本学連を公式に代表し、主催者に対して派遣される。
- 34.2 イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる。
- 34.3 イベント・アドバイザーの主な任務は、インカレ実施規則が遵守されていることを確認することである。また、必要のある事項については技術委員会との協議を行う。
- 34.4 イベント・アドバイザーは、インカレが適正に行われるように、少なくとも以下の任務を遂行する。

- ・ 要項の内容を確認すること
- ・ 会場、テレインの適格性を確認すること
- ・ スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、

- 日程,費用,トレーニングの機会)を確認すること
 - ・ スタート,フィニッシュ,チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること
 - ・ 計時システムの信頼性と正確性を判断すること
 - ・ 地図が規定に合致しているか確認すること
 - ・ 地図の正確さ,作図・印刷の妥当性を確認すること
 - ・ コースの適格性(距離,競技時間,難易度,コントロール位置と設置状態,偶然性の排除など)を確認すること
 - ・ リレーにおいては,コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること
 - ・ コントロール位置説明が適切かどうか確認すること
 - ・ 式典が適切かどうか判断すること
 - ・ 競技への影響の可能性の観点から,報道関係者,観客等に対する処遇を確認すること
 - ・ 運営組織,人事,会計及び競技運営全般を確認すること
- 34.4 インカレ開催中,イベント・アドバイザーは,大会会場に常駐し,以下の任務を遂行する。
- ・ 主管者に対して助言を与えること
 - ・ 裁定委員会の提訴に関わる審議を補佐すること
- 34.5 イベント・アドバイザーは,以上の他に自分の裁量で,インカレの準備と実行に関係ある活動を確認する。
- 34.6 イベント・アドバイザーは,必要に応じて任務を補佐する者を指名することができる。イベント・アドバイザー補佐は,特に,地図作成,コース,イベント,運営組織,人事,会計,スポンサー,メディア等のうち,イベント・アドバイザーが必要と考える分野において,任務を補う。
- 34.7 イベント・アドバイザーとイベント・アドバイザー補佐に関わる経費は,主催者が直接に支出する。

第 35 条 報告

- 35.1 主管者は,当該インカレ開催後 2 週間以内にイベ

ント・アドバイザーに以下のものを送付する。

- ・ 公式成績
- ・ 各競技部門のコース図および全コントロール図
- ・ その他必要と思われる資料

35.2 イベント・アドバイザーは,当該インカレ開催後 3 カ月以内に幹事会,理事会及び技術委員会にその活動の報告を送付する。

35.3 主管者は,すべての要項とプログラム,大会報告書を日本学連事務局に送付する。日本学連事務局は,これらを資料として保存する。

第 36 条 メディア・サービス

36.1 主催者および主管者は,メディア取材者に対して,報道するに好都合な機会を提供することが望ましい。

36.2 主管者は,競技の公平さを損ねない限りにおいて,メディアの報道のために最大限の努力をすることが望ましい。

第 37 条 改正

37.1 本規則の改正は総会の議決による。

第 38 条 施行

38.1 本規則は 2004 年 4 月 1 日より施行する。

38.2 本規則は 2004 年 11 月 8 日より改正施行する。

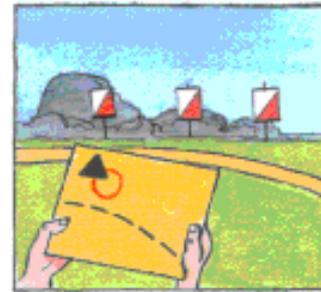
2003 年 11 月 15 日 制定

2004 年 11 月 6 日 改正

トレイル - O 競技 [3 / 1 2 (土)]

トレイル - O は「体力不要。知力で勝負」の地図読みと正確さを競うオリエンテーリングである。オリエンテーリングウェアを着用する必要はなく、普段着で競技が可能である。当日申込が可能で、当日申込の選手も表彰対象となる。

なお今回のトレイル - O は、新たな試みとして、全コントロールをタイムコントロール(TC)とする。地図と現地を正確に対応させる能力はもちろんだ、そのスピードも求められることになる。



1 受付・スタート【9:00~12:30】

- スタート方法
 - [事前申込者]
開会式会場の受付において、各自の名前とスタート時刻が記入されたコントロールカードを学校ごとに配布するので、直接スタートに来ること。なお、スタート時刻については、9 スタート時刻(事前申込者)を参照のこと。
 - [当日申込者]
所定の申込用紙に氏名・大学名(所属)・クラスを記入し、参加費を支払うこと。参加費は1,000円である。スタート時刻はこの場で指定する。
- トレイル - O 競技の所要時間はおよそ30分の予定である。
- 当日申込は混雑が予想され、希望の時刻にスタートできない、または出走できない可能性がある。

2 地図

縮尺：1:5,000 等高線間隔：5m 透視可能度：3段階表示

位置説明：IOF 記号 地図記号：ISOM2000

3 コース

クラス	距離	登距離	難易度
TA	1,100m	20m	トレイル - O 経験2回以上の競技者を想定
TN	1,100m	20m	トレイル - O 経験0~1回以上の競技者を想定

4 テレインプロフィール

- テレインは会場周辺の狭い範囲に位置する。
- テレイン内のルートは50%が舗装されていない。運動靴等での参加を推奨する。

5 競技【9:00~13:00】

- 競技の公平性を遵守し、静粛に競技を行うこと。他の選手のヒントになるような言動は厳禁とする。
- コース内の移動はすべてテープ誘導に従って進むこと。テープ誘導はスタートからゴールまで黄色で示す。
- すべてのコントロールがTCである。役員の指示に従い、TCに挑戦すること。
- なお、TCには正解無しという解答は無い。

6 競技方法

- TC ではいかに早く地図と地形と照合し、正しいフラッグを選択できるかを競う。
- 競技者は役員の指示に従ってイスに座り、コントロールカードを役員に提示すること。
- フラッグの数を確認した後に地図が渡される。地図はあらかじめ正置されている。地図が渡されると同時に計時が開始される。
- 制限時間内に所定の方法で回答する。TC 用の自動計測器を用いる場合は、正解と思うフラッグ位置のボタンを押すこと。ストップウォッチで計時する場合は、正解と思うフラッグ位置のアルファベット（記号表示）を指差して答えること。
- 制限時間は 60 秒である。残り時間が 10 秒になるとブザーまたは役員により合図がある。
- 正解の場合は 1 ポイントが与えられる。不正解の場合は 0 ポイントであり、ペナルティとして回答時間に 60 秒が加算される。
- 制限時間（60 秒）を超過した場合は不正解扱いとなり、所要時間は 120 秒となる。
- 正解数が最も多く、回答時間の合計が最も短い者が優勝となる。

7 フィニッシュ 【9:00~13:00】

- 13:00 以降、トレイル - O の競技エリアは選手権 A-Final の観戦エリアとして開放されるため、必ず 13:00 までにフィニッシュすること。
- スタート後、途中で競技を止める場合でもフィニッシュを必ず通過すること。
- コントロールカードを提出すること。翌日（3/13）13:00 以降、受付付近で各自のコントロールカードと正解表を返却する。
- アンケートを配布するので、ご協力ください。

8 結果発表・表彰 【3/13】

- 競技の翌日（3/13）結果を公式掲示板に掲示する。成績に疑問がある際は、大会受付で所定の質問用紙にて質問すること。質問の期限は 3/13 13:30 とする。
- 正解は競技当日（3/12）のみ、公式掲示板に掲示する。
- 表彰は翌日（3/13）の 13:30 頃から行うこととする。
- すべての参加者の中から各クラス上位 3 位までの者を表彰する。

9 スタート時刻（事前申込者）

- ミドル競技において選手権クラスに参加する者は、各自の予選スタート時刻の約 70 分後とする。なお、スタート時刻に遅刻した者は、受付でスタート時刻の再指定を受けただうえで、11:04 以降にスタートすることができる。ただし、必ずしも十分な競技時間が確保されるとは限らないので注意すること。
- ミドル競技において一般クラスに参加する者で、一般のスタート時刻が 10:00~10:29 の者は、各自の一般スタート時刻の約 90 分後とする。なお、スタート時刻に遅刻した者は、受付でスタート時刻の再指定を受けただうえで、12:00 以降にスタートすることができる。ただし、必ずしも十分な競技時間が確保されるとは限らないので注意すること。
- ミドル競技において一般クラスに参加する者で、一般のスタート時刻が 10:30 以降の者は、各自の一般スタート時刻の約 90 分前とする。なお、スタート時刻に遅刻した者の出走は認めない。

10 その他

- 日本トレイル・オリエンテーリング競技規則に準じる。
- トレイル - O コントローラー： 田中博
- コースプランナー： 藤島由宇
- トレイル - O に関する問合せ先：
渡辺真人 masato_watanabe_2004@yahoo.co.jp TEL 090 4178 0964

